AUTO MESSENGER

れんら君
UNC-RP01/UNC-RP01-1/UNC-RP01P1
UNC-RP01A/UNC-RP01A-1/UNC-RP01P1A
設定ソフト取扱説明書

V-1.2

本製品を安全に正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよく
お読みになり、内容を理解された上でご使用ください。
また本取扱説明書を大切に保管され保守、点検時にご活用ください。

ＮＫＥ株式会社

EUNCRP01-802C

取扱説明書変更履歴

ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	日　付	変更内容
EUNCRP01-802A （Ｖ－１．０）	2004.09.14	初版
EUNCRP01-802B （Ｖ－１．１）	2006.04.05	詳細設定・通知ﾒｰﾙの読込/書込の設定ｺﾏﾝﾄﾞを統合 ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀ搭載
EUNCRP01-802C （Ｖ－１．２）	2006.08.04	対応型式追加(UNC-RP01P1/UNC-RP01P1A)

ご注意

■　本書の内容に関しましては将来予告なしに変更することがあります。

■　本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

■　本書の内容に関しまして誤りや記載もれなどお気付きの点がございましたら、お手数ですが弊社までお知らせください。

はじめに

このたびは**本製品**をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。

安全にまた正しくお使いいただくために

⚠ 注意

- 本製品は必ず仕様範囲内でお使いください。
- 配線作業を行うときは必ず電源を切ってください。
- 本製品標準型である端子台型と接続する電源はDC24V安定化電源をご使用ください。
- LAN伝送ﾗｲﾝや入出力ﾗｲﾝは高圧線や動力線と離してご使用ください。
- 誤配線はﾄﾗﾌﾞﾙの原因となります。接続用端子の信号表示にあわせて接続してください。
- 静電気や衝撃などに十分注意してお取り扱いください。
- 本製品は宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。

保証について

本製品の保証は日本国内で使用する場合に限ります。

- 保証期間

納入品の保証期間は納入後１ヶ年とします。

- 保証範囲

上記保証期間中に本取扱説明書に従った製品使用範囲内の正常な使用状態で故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行います。

ただし、次に該当する場合はこの保証の範囲から除外させていただきます。

(1) お客様の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
(2) 故障の原因がお客様の事由による場合。
(3) お客様の改造または修理による場合。
(4) その他、天災、災害等で納入者の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

- 有償修理

保証期間後の調査及び修理は全て有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障の修理及び故障の原因調査（保証範囲の場合を除く）は有償にてお受け致します。修理に関するご依頼はお買い上げの販売店にお申しつけください。

- 部品のご注文、お問い合わせ

製品の故障、部品のご注文、その他お問い合わせの節は、次の事項をお買い上げの販売店まで詳しくご連絡ください。

(1) 型式
(2) 製造ロット番号
(3) 不具合の内容、配線図等

目次

1　設定ｿﾌﾄ概要

・ れんら君は、入力が一定時間入り続けると発報出力【発報】とﾒｰﾙの送信【通知ﾒｰﾙ】を２段階の入力要因【注意】、【警報】に分けて行います。入力点数は２点で、１点毎に【注意】および【警報】時にそれぞれ、発報と通知ﾒｰﾙを行います。

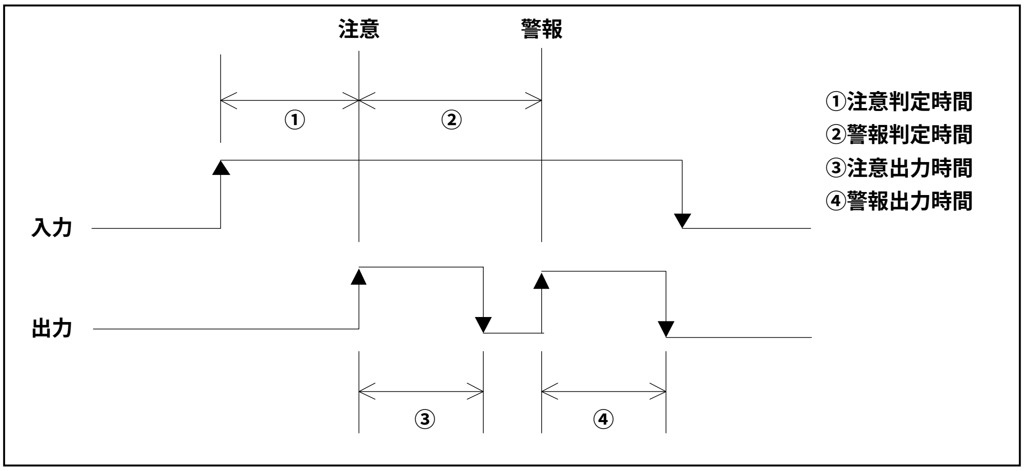


図1　入力要因図

・ 本設定ｿﾌﾄは、れんら君の通知ﾒｰﾙの設定を行います。
・ 本設定ｿﾌﾄを使用すると、Ethernet を経由してﾊﾟｿｺﾝから通知ﾒｰﾙの設定やれんら君の設定内容の参照、及び、更新が可能になります。

2　動作環境

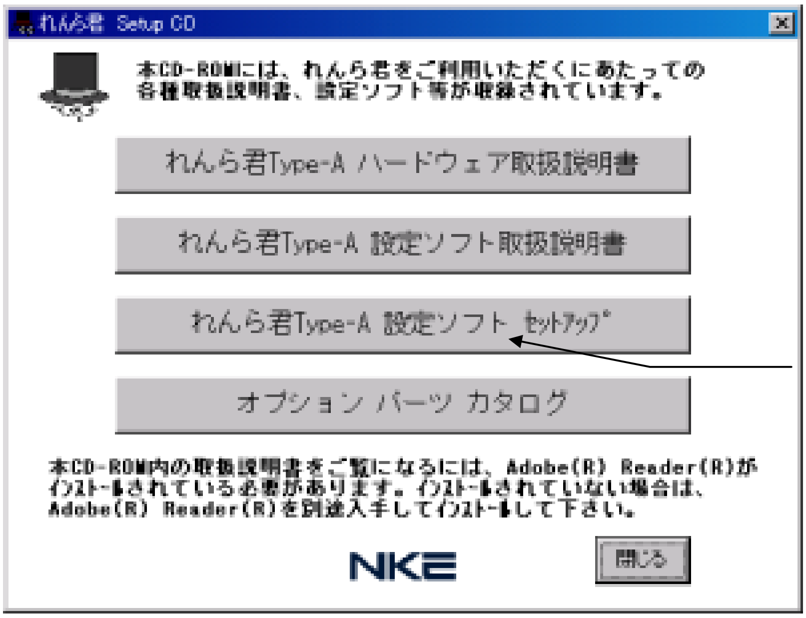
ＯＳ	Microsoft® Windows 98 SE Microsoft® Windows Me Microsoft® Windows 2000 Microsoft® Windows XP
HDD	20MB 以上の空き容量
CD-ROM	標準以上
LAN カード	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠の 10BASE-T、100BASE-TX に対応しているもの
動作確認済みﾒｰﾙｿﾌﾄ	Outlook Express 5.5 /6.0、Outlook、Eudora6.0、ShurikenPro3 AL-Mail32、Becky! Internet Mail 等です その他のﾒｰﾙｿﾌﾄについては弊社に問い合わせてください。

3　ｾｯﾄｱｯﾌﾟ

[1] 添付されているｾｯﾄｱｯﾌﾟ CD をﾊﾟｿｺﾝの CDﾄﾞﾗｲﾌﾞ にｾｯﾄします。

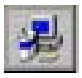
[2] しばらくすると、SETUP CD 画面が立ち上がります。画面が立ち上がらないときは、ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀから CD の中を見ていただき､その中の Autorun.exe をﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸして SETUP CD 画面を立ち上げてください。

[3]



「れんら君Type-A 設定ｿﾌﾄｾｯﾄｱｯﾌﾟ」をｸﾘｯｸする。

[4] ｲﾝｽﾄｰﾗが起動しますので「OK」をｸﾘｯｸします。

[5] ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘに問題が無ければ  をｸﾘｯｸします。

[6] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ に問題が無ければ「継続」をｸﾘｯｸします。

[7] 「れんら君 Type-A 設定ソフト version____のｾｯﾄｱｯﾌﾟ が完了しました。」と表示されたら「OK」をｸﾘｯｸします。（____の部分はﾊﾞｰｼﾞｮﾝ番号によって異なります）

以上でれんら君設定ｿﾌﾄのｾｯﾄｱｯﾌﾟ は終了です。

4　ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ

【ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ】→【ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの追加と削除】の【ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの変更と削除(H)】の一覧から「れんら君設定ｿﾌﾄ」を選択した後、【変更と削除】ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸしてください。
(上記は Windows XP の場合です。)

5　れんら君にﾒｰﾙ設定をする前の準備

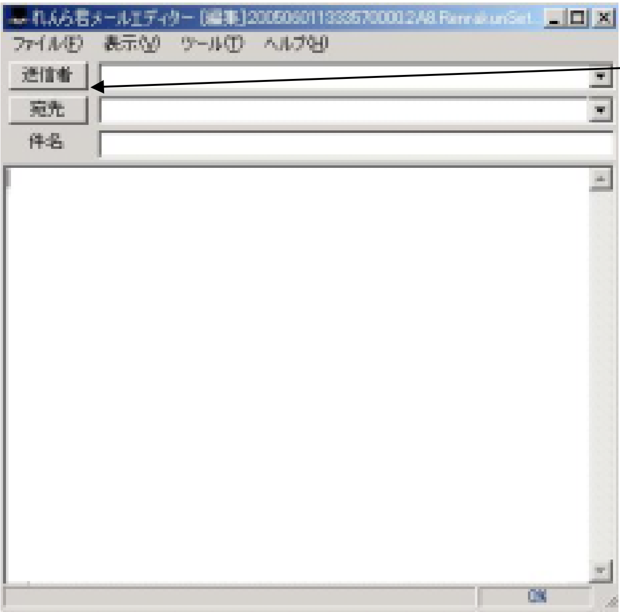
5-1　ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰでﾒｰﾙを作成する。
れんら君が出力するﾒｰﾙを設定ｿﾌﾄに添付のﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰでﾒｰﾙを作成します。

5-1-1　ﾒｯｾｰｼﾞの送信者と宛先のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを登録します。

ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰは、ﾒｰﾙｿﾌﾄのｱﾄﾞﾚｽ帳からﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを参照できません。ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰでﾒｰﾙの送信者、宛先を設定する場合は、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを登録して下さい。

[1]れんら君設定ｿﾌﾄを起動します。

[2]「ﾒｰﾙの作成」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸするとﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰが起動します。



「送信者」ﾎﾞﾀﾝ、又は、「宛先」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸしますと「ｱﾄﾞﾚｽ帳から選択する」画面を表示します。

[3]



「新規」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸしますと「新規登録」画面が表示されます。

[4]



表示名とﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力して、「OK」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸします。

[5]

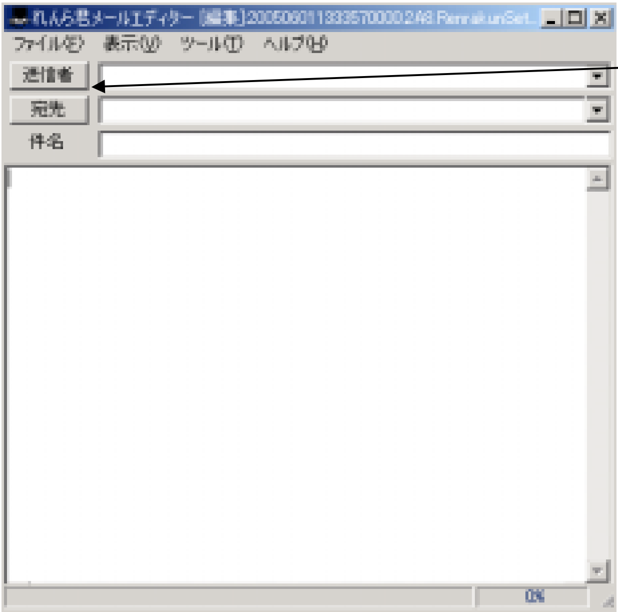


これでﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの登録は終了しました。
複数のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを登録する場合は、操作を繰り返してください。

5-1-2　**れんら君に登録するﾒｰﾙを作成します。**

[1]れんら君設定ｿﾌﾄを起動します。

[2]「ﾒｰﾙの作成」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸするとﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰが起動します。



「送信者」ﾎﾞﾀﾝ、又は、「宛先」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸしますと「ｱﾄﾞﾚｽ帳から選択する」画面を表示します。

[3]



ﾒｯｾｰｼﾞの送信者と受信者を選択して、「閉じる」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸします。

[4]



任意の件名と本文を入力します。
ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗｰなどからﾄﾞﾗｯｸﾞｱﾝﾄﾞﾄﾞﾛｯﾌﾟで
ﾌｧｲﾙを添付できます。

画面右下に編集中のﾒｯｾｰｼﾞの容量と
れんら君に登録できる一通あたりのﾒｰﾙｻｲｽﾞ
で割った比率が表示されています。

100%未満になるようにﾒｯｾｰｼﾞを編集してください。

[5]



ﾌｧｲﾙ(F)→ﾒｰﾙﾘｽﾄに保存(S)をｸﾘｯｸしてください。編集内容をﾌｧｲﾙ保存後に設定ｿﾌﾄに登録されます。登録後、ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰを終了して、設定ｿﾌﾄに戻ります。

ﾌｧｲﾙ(F)→閉じる(C)、または、をｸﾘｯｸすると編集内容の保存を行わずにﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰを終了して、設定ｿﾌﾄに戻ります。

複数のﾒｰﾙを作成する場合は、いままでの操作を繰り返して下さい。

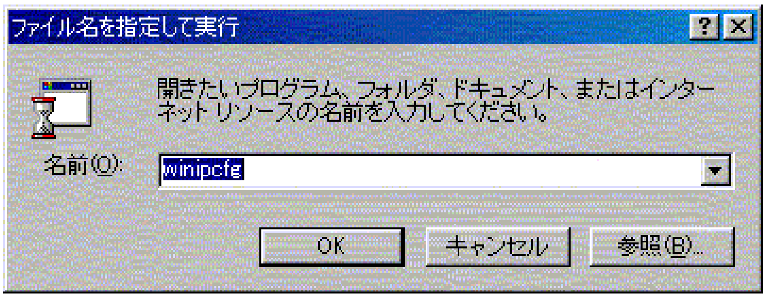
5-2　ﾙｰﾀｰの設定を確認する。

れんら君はｲﾝﾀｰﾈｯﾄｱｸｾｽﾙｰﾀｰに接続することによってﾒｰﾙの送受信が行えるようになります。そこでｲﾝﾀｰﾈｯﾄｱｸｾｽﾙｰﾀｰに接続するための情報を確認します。確認する情報は、ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲと DNSｱﾄﾞﾚｽになります。
OS によって、確認の仕方が異なるため、それぞれの方法を参照ください。なお、情報を確認するためには、以下の方法を実行するﾊﾟｿｺﾝが実運用時のれんら君と同じ LAN 上に接続されていて、尚且つ、ﾒｰﾙの送受信を正常に行えるﾊﾟｿｺﾝでなければなりません。

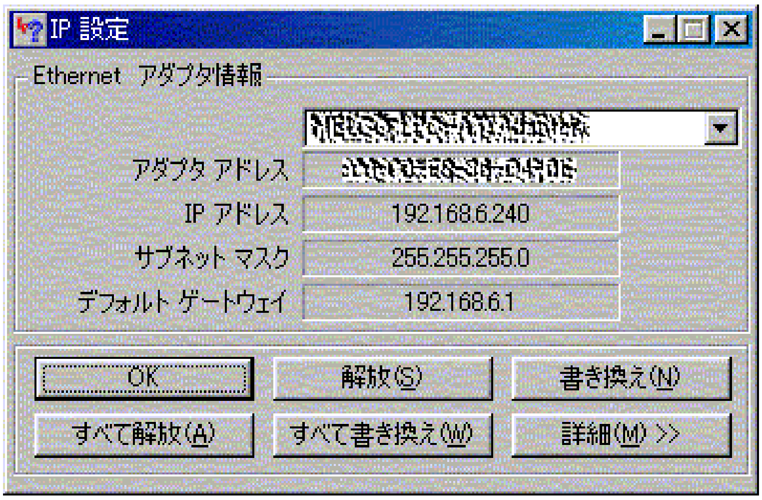
お使いになられているｲﾝﾀｰﾈｯﾄｱｸｾｽﾙｰﾀｰのﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ、DNSｱﾄﾞﾚｽをご存じの方はこの章を読み飛ばしてください。

[1] Windows98SE、WindowsMe のとき

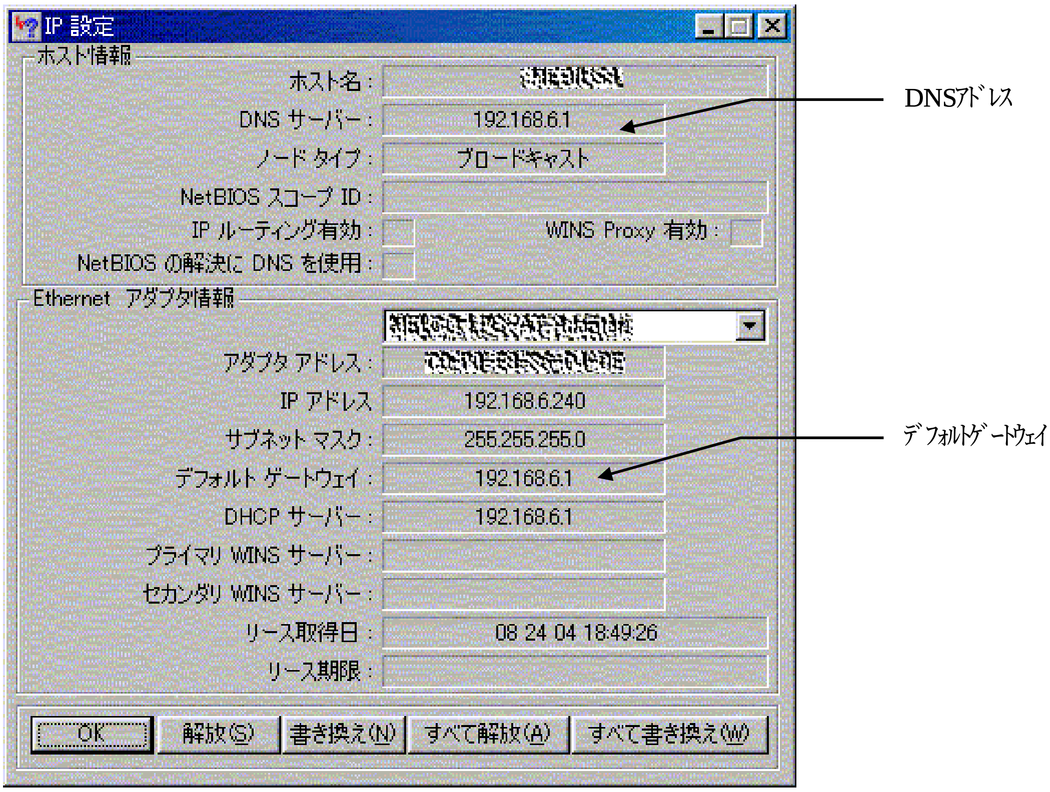
「ｽﾀｰﾄ」→「ﾌｧｲﾙを指定して実行」で出てくる画面に「Winipcfg」を入力して「OK」をｸﾘｯｸします。



「IP 設定」画面が立ち上がりますので右下の「詳細」をｸﾘｯｸします。



IP 設定の中のﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲと DNSｱﾄﾞﾚｽを確認ください。



表示例は

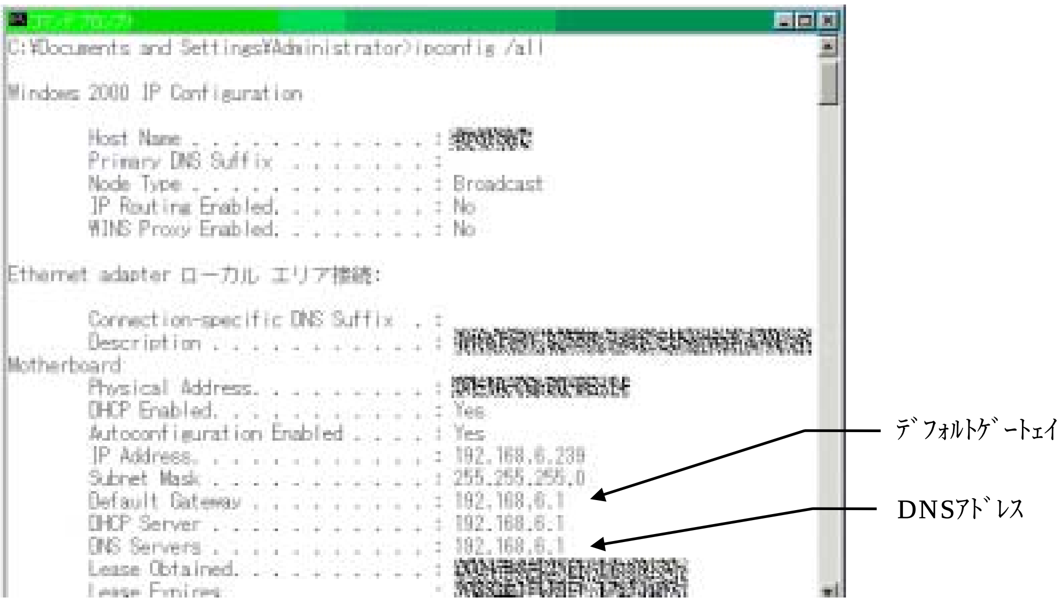
ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ	192.168.6.1
DNSｱﾄﾞﾚｽ	192.168.6.1

になります。

[2] Windows2000,Windows XP のとき

ｺﾏﾝﾄﾞﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄを起動させます。ｺﾏﾝﾄﾞﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄは
「ｽﾀｰﾄ」→「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」→「ｱｸｾｻﾘ」の中にあります。

「ipconfig ␣ －all」を入力してください。下図のようになり、矢印部分がﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲおよびDNSｱﾄﾞﾚｽになります。（ ␣ は半角ｽﾍﾟｰｽです。）



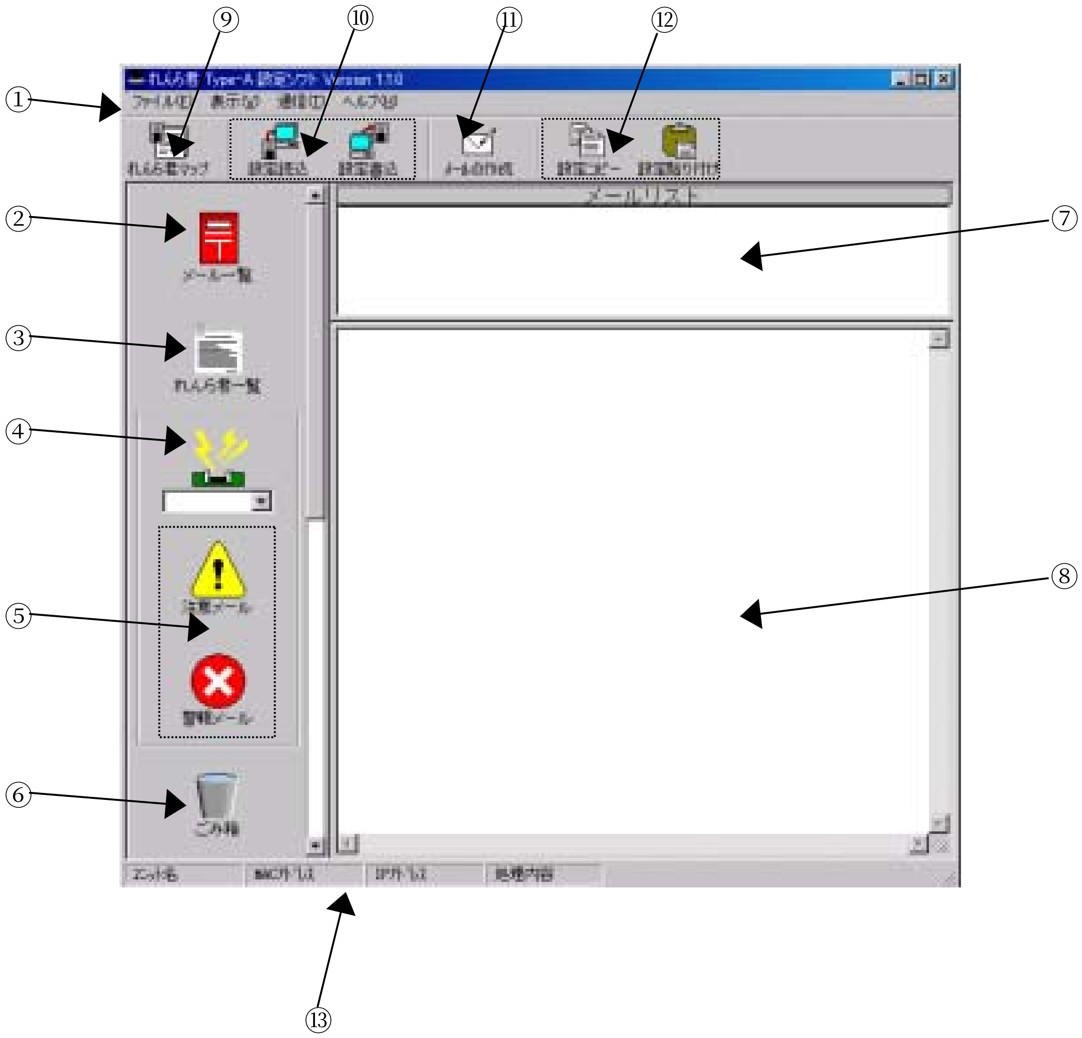
表示例は

ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ	192.168.6.1
DNSｱﾄﾞﾚｽ	192.168.6.1

になります。

6　画面

6-1　れんら君設定ｿﾌﾄ画面



れんら君設定ｿﾌﾄ画面の各項目の意味について

①【ﾒﾆｭｰﾊﾞｰ】・・・・・・・・・ 各種ﾒﾆｭｰを実行します。
(ﾒﾆｭｰﾊﾞｰについて詳細は、後述の 6-2 項を参照下さい)
②【ﾒｰﾙ一覧】・・・・・・・・・ 通知ﾒｰﾙに登録するためのﾒｰﾙを格納しています。
③【れんら君一覧】・・・・・・ 設定ｿﾌﾄに登録されているれんら君を一覧表示します。
④【入力 0】、又は、【入力 1】・・ それぞれの入力の⑤に設定されている通知ﾒｰﾙを⑩に一覧表示します。また、⑤に登録する通知ﾒｰﾙは、④の【注意】,【警報】の通知ﾒｰﾙとして登録されます。
ﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝﾒﾆｭｰで【入力 0】→【入力 1】、【入力 1】→【入力 0】と切り替わります。
⑤【通知ﾒｰﾙ】
・【注意ﾒｰﾙ】・・・・・・・ 入力要因【注意】時に送信する通知ﾒｰﾙを格納しています。
・【警報ﾒｰﾙ】・・・・・・・ 入力要因【警報】時に送信する通知ﾒｰﾙを格納しています。
⑥【ごみ箱】・・・・・・・・・・ 通知ﾒｰﾙの登録解除、又は、ﾒｰﾙの削除をします。
また、「れんら君一覧」かられんら君の登録を削除します。

②～⑤は、機能毎のﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽです。各ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽをｸﾘｯｸすると水色に反転して選択状態になります。選択状態であるﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽの内容が⑦に表示（⑥は除く）されます。
⑦からﾒｰﾙを選択して、ﾄﾞﾗｯｸﾞｱﾝﾄﾞﾄﾞﾛｯﾌﾟで「通知ﾒｰﾙの登録」、「ﾒｰﾙ削除、通知ﾒｰﾙの登録解除」等の操作が行えます。

⑦【登録内容表示】・・・・・・ 登録内容を表示します。②のﾒｰﾙ一覧を選択時は設定ｿﾌﾄに登録されているﾒｰﾙの一覧を、③のれんら君一覧を選択時は設定ｿﾌﾄに登録されているれんら君を一覧表示します。
⑧【詳細表示】・・・・・・・・・ 詳細内容を表示します。②のﾒｰﾙ一覧を選択時はﾒｰﾙ内容を、③のれんら君一覧を選択時は⑦で選択しているれんら君の設定を表示します。ただし、ﾒｰﾙ内容表示はﾃｷｽﾄ形式のﾒｰﾙのみ表示します。
HTML 形式のﾒｰﾙは正常に表示できません。
⑨【れんら君ﾏｯﾌﾟﾂｰﾙﾊﾞｰ】
・【れんら君ﾏｯﾌﾟ】・・・・ LAN につながっているれんら君を探して設定ｿﾌﾄに登録します。
⑩【れんら君設定ﾂｰﾙﾊﾞｰ】
・【設定読込】・・・・・・ 指定したれんら君の設定を読み込みます。
・【設定書込】・・・・・・ 指定したれんら君に設定を書き込みます。
⑪【ﾒｰﾙ作成ﾂｰﾙﾊﾞｰ】
・【ﾒｰﾙの作成】・・・・・ 付属のﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰでﾒｰﾙを作成して、②に追加します。
⑫【設定編集ﾂｰﾙﾊﾞｰ】
・【設定ｺﾋﾟｰ】・・・・・・ 指定したれんら君の設定をﾊﾟｿｺﾝのｸﾘｯﾌﾟﾎﾞｰﾄﾞにｺﾋﾟｰします。
・【設定貼り付け】・・・・ ﾊﾟｿｺﾝのｸﾘｯﾌﾟﾎﾞｰﾄﾞにｺﾋﾟｰされているれんら君の設定を指定したれんら君にｺﾋﾟｰします。
⑬【ｽﾃｰﾀｽﾊﾞｰ】・・・・・・・・ ③のれんら君一覧を選択時に⑦の一覧からｸﾘｯｸで選択したれんら君のﾕﾆｯﾄ名、IPｱﾄﾞﾚｽ名、MACｱﾄﾞﾚｽ名と設定ｿﾌﾄが実行した処理内容を表示します。

6-2　ﾒﾆｭｰﾊﾞｰの構成と機能



名称1	名称2	ｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰ	説明
ﾌｧｲﾙ(F)	ﾒｰﾙの作成(N)...		新規ﾒｰﾙを作成します。
	ﾒｰﾙの編集(E)...		選択したﾒｰﾙを編集します。
	ﾒｰﾙのｺﾋﾟｰ(C)		選択したﾒｰﾙのｺﾋﾟｰをします。
	ﾒｰﾙの削除(D)		選択したﾒｰﾙを削除します。
	終了(X)		本ｿﾌﾄを終了します。
表示(V)	文字ｾｯﾄ(C)		ﾒｰﾙのｴﾝｺｰﾄﾞ形式を指定します。
通信(T)	れんら君ﾏｯﾌﾟ(M)	F5	れんら君ﾏｯﾌﾟを実行します。
	設定読込(R)	F6	設定読込を実行します。
	設定書込(W)	F7	設定書込を実行します。
	ｽﾃｰﾀｽ(S)...	F8	れんら君の状態を取得します。
ﾍﾙﾌﾟ(H)	ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報(A)...		本ｿﾌﾄのｻﾎﾟｰﾄ情報を表示します。

6-2-1　**れんら君の状態を取得する。**

れんら君の状態と入力接点の ON/OFF を問い合わせます。れんら君ﾘｽﾄから状態を確認するれんら君を選択後にﾒﾆｭｰﾊﾞｰの通信(T)→ｽﾃｰﾀｽ(S)...をｸﾘｯｸで実行します。
(れんら君ﾘｽﾄについて詳細は、後述の 7-1 項の[3]を参照ください)



装置状態：[監視中][停止中][設定中][装置異常]
　れんら君の状態を表示します。

入力 0,入力 1：[ON][OFF]
　入力接点の状態を表示します。

出力：[ON][OFF][強制 ON][強制 OFF]
　出力接点の状態を表示します。

6-2-2　**ｴﾝｺｰﾄﾞ形式を指定する。**

ﾒｰﾙのﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ表示が文字化けする場合は、ｴﾝｺｰﾄﾞ形式の指定を変更してください。
表示(V)→文字ｾｯﾄ(C)でｴﾝｺｰﾄﾞ形式を指定できます。以下のｴﾝｺｰﾄﾞ形式を選択できます。
(ﾒｰﾙのﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ表示について詳細は、後述の 7-2 項の[3]を参照ください)

日本語(ISO-2022-JP)	Unicode(UTF-8)
日本語(ｼﾌﾄJIS)	Unicode(UTF-7)
日本語(EUC-JP)	

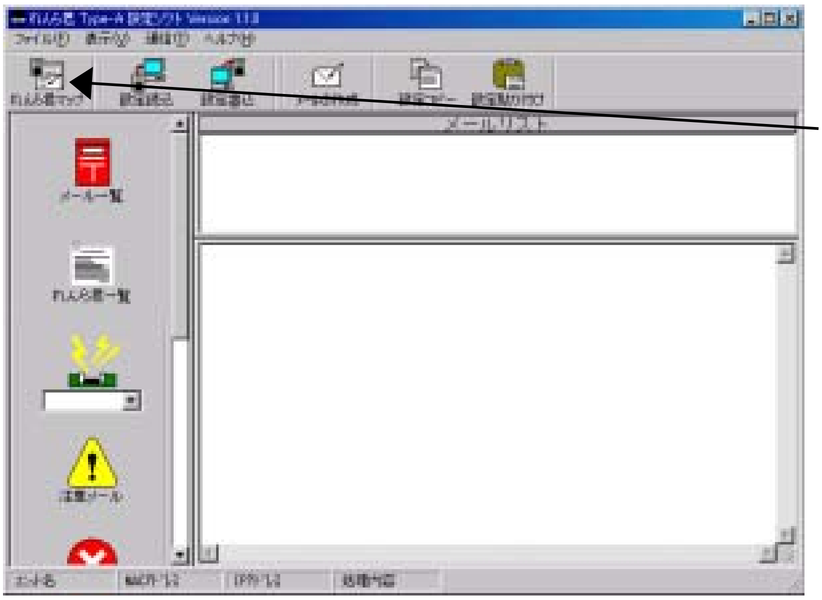
7　設定

7-1　れんら君を設定する。

[1] れんら君設定ｿﾌﾄを起動します。
(｢ｽﾀｰﾄ｣→｢ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ｣→｢れんら君 Type-A 設定ｿﾌﾄ｣→｢れんら君 Type-A 設定ｿﾌﾄ｣)

＜注意＞ WindowsXP SP2 において、れんら君設定ｿﾌﾄを起動すると 「このﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑをﾌﾞﾛｯｸし続けますか？」と聞かれことがあります。 このとき、「ﾌﾞﾛｯｸを解除する」をｸﾘｯｸしてください。

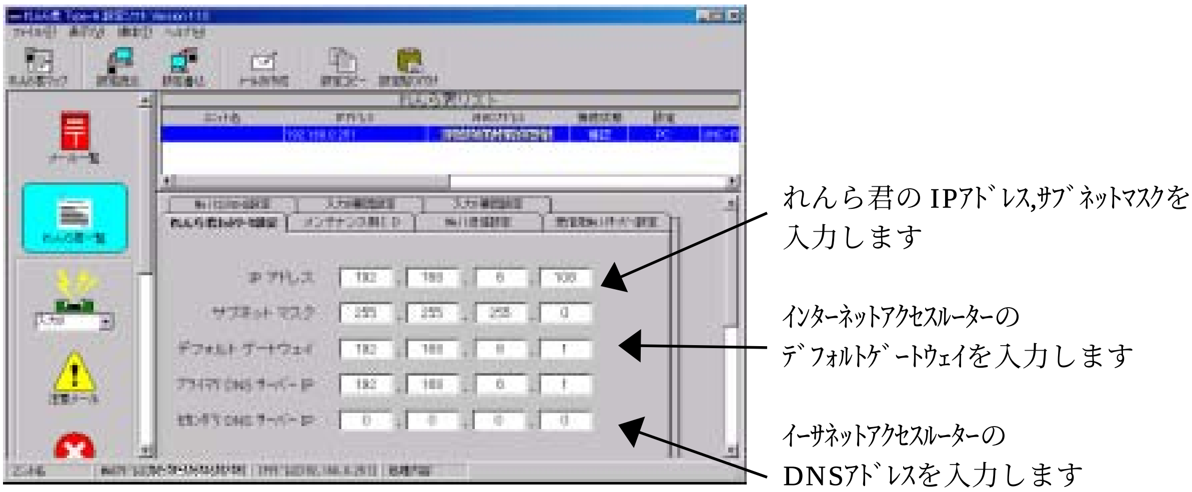
[2] れんら君設定ｿﾌﾄにれんら君を登録します。



「れんら君ﾏｯﾌﾟ」をｸﾘｯｸします。
すると､LAN につながっている
れんら君を探して設定ｿﾌﾄに
登録します。

れんら君設定ｿﾌﾄで新規に接続が確認できたれんら君があれば､
「以下のれんら君に対して設定読込を行ってください」とﾒｯｾｰｼﾞが出てきます。
MACｱﾄﾞﾚｽを確認の上、設定読込を実行してください。
(設定読込の実行について詳細は、後述の 7-2 項を参照ください)

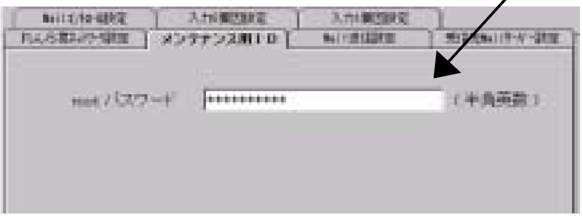
[3] れんら君ﾘｽﾄの中から設定したいれんら君を選びｸﾘｯｸするとれんら君設定情報画面に切り替わります。れんら君ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾀﾌﾞをｸﾘｯｸして、れんら君の IPｱﾄﾞﾚｽ、ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ、ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ、DNSｱﾄﾞﾚｽを設定します。



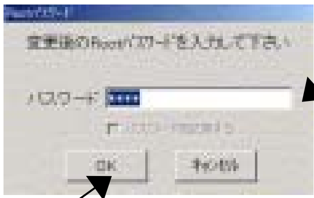
れんら君ﾘｽﾄには次の情報が表示されます。

ﾕﾆｯﾄ名	れんら君のﾕﾆｯﾄ名です。Mailｺﾝﾄﾛｰﾙ設定ﾀﾌﾞで設定したﾕﾆｯﾄ名が表示されます。
IPｱﾄﾞﾚｽ	れんら君の IPｱﾄﾞﾚｽです。
MACｱﾄﾞﾚｽ	れんら君の MACｱﾄﾞﾚｽです。
接続状態	れんら君ﾏｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸしたときで新たに発見したれんら君は”新規” 一度設定して、その設定ﾃﾞｰﾀがﾊﾟｿｺﾝに保存されているとき”確認” 設定ﾃﾞｰﾀがﾊﾟｿｺﾝに保存されているが現在接続されていないとき”切断” と表示されます。
設定	該当のれんら君の設定ﾃﾞｰﾀがﾊﾟｿｺﾝに保存されていたら”PC” 設定読込ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸして現在接続中のれんら君の設定ﾃﾞｰﾀを読み込んでいたら“れんら君”と表示されます。
製品名	れんら君の製品名（型式）
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	れんら君の組み込みｿﾌﾄのﾊﾞｰｼﾞｮﾝを表示します。

[4] 他のﾀﾌﾞも下図のように入力します。



任意のｷｰで編集ﾀﾞｲｱﾛｸﾞが表示されます



①rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを
入力する

大文字、小文字を
区別します。

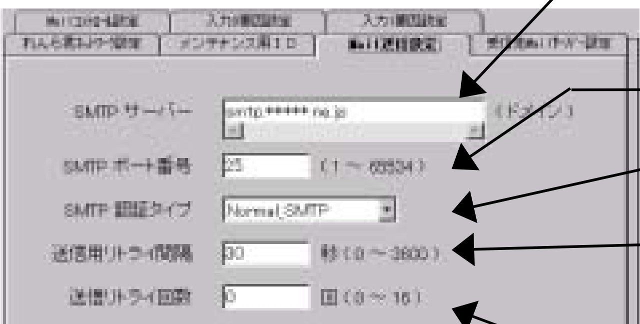
②OK をｸﾘｯｸ



③①を再入力する

④確認をｸﾘｯｸ

Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの設定値は、必ず控えをとって下さい。



ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞｰから与えられた
SMTPｻｰﾊﾞｰを入力します。

通常は「25」です。

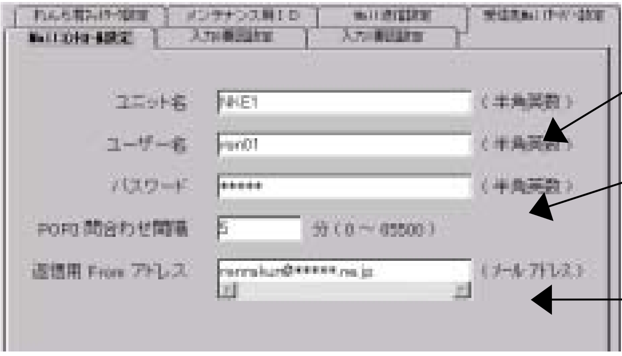
通常は「Normal_SMTP」です。

送信ｴﾗｰから次に送信動作をするまで
の間隔を入力します。

ﾘﾄﾗｲを繰り返す回数の設定です。
0 回の設定の場合、回数制限なく
ﾘﾄﾗｲを繰り返します。



ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞから与えられた
POP3ｻｰﾊﾞｰ
ﾒｰﾙｱｶｳﾝﾄ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
を入力します。
POP3ﾎﾟｰﾄは通常「110」です。



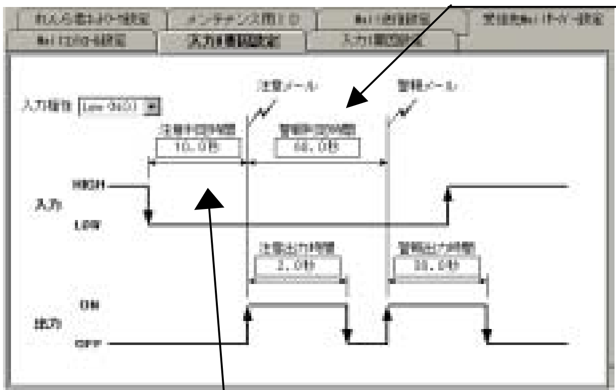
任意な名前とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを
半角英数で入力して下さい。

問い合わせ間隔はれんら君がﾒｰﾙ受信をする
時間間隔です。

ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞから与えられた E-mailｱﾄﾞﾚｽを
入力してください。

ﾕﾆｯﾄ名について
ﾕﾆｯﾄ名は、それぞれのれんら君に固有の名前にしてください。
れんら君設定ｿﾌﾄから複数のれんら君を管理するとき判別するのに便利です。
また、ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙ機能を使用するとき、ﾕﾆｯﾄ名称が、ﾒｰﾙ返信元名となります。
１つのﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを複数のれんら君に使用するときﾒｰﾙ返信元を判別するのに
便利です。

(ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙについての詳細は、後述の 10 章を参照ください。)



れんら君に外部入力があったときの動作
を設定します。

例では 10 秒間入力が継続すれば
2 秒間の出力が発生し注意ﾒｰﾙが発信、
さらに 60 秒間入力が継続すると
30 秒間の出力が発生し警報ﾒｰﾙが発信
されます。

入力 1 要因設定も同様に行います。

ｸﾘｯｸ、又は、任意のｷｰ押下で編集ﾀﾞｲｱﾛｸﾞを表示します



判定時間、又は
出力時間を
入力します

[OK]ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸ、又は、[Enter]ｷｰを押してください。
編集を破棄する場合は、[ｷｬﾝｾﾙ]ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸ、又は、
[Esc]ｷｰを押して下さい。

[5] ﾒｰﾙﾘｽﾄから、ﾒｰﾙ登録操作を行います。
登録にあたり、ﾒｰﾙ件数，ﾒｰﾙ容量に制限があります。

（１）ﾒｰﾙ件数の制限（各要因に対し 6 件まで）
【入力 0】,【入力 1】の【注意ﾒｰﾙ】,【警報ﾒｰﾙ】にそれぞれ、0～6 件までの通知ﾒｰﾙを登録できます。

（２）ﾒｰﾙｻｲｽﾞの制限（総容量 約 380KB）
1 通のﾒｰﾙｻｲｽﾞの最大容量は 64KB までです。ただし、同じﾒｰﾙﾌｧｲﾙを複数登録した場合は、1 通分の容量のみ使用します。

ﾒｰﾙ登録操作は、以下の手順で行います。

①登録先ｺﾈｸﾀを選択する
登録先の入力ｺﾈｸﾀを【入力 0】または【入力 1】からﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝﾒﾆｭｰで選択します。

②ﾒｰﾙﾘｽﾄから登録するﾒｰﾙを選択する
左列の【ﾒｰﾙ一覧】をｸﾘｯｸし､ﾒｰﾙﾘｽﾄから､登録するﾒｰﾙを選択します。
選択されたﾒｰﾙは反転表示され､ﾒｰﾙの内容が【詳細表示】画面にﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ表示されます。

③ﾒｰﾙを登録先にﾄﾞﾗｸﾞｱﾝﾄﾞﾄﾞﾛｯﾌﾟする
選択したﾒｰﾙの登録先(左列の【注意ﾒｰﾙ】、または、【警報ﾒｰﾙ】)にﾄﾞﾗｸﾞｱﾝﾄﾞﾄﾞﾛｯﾌﾟすることにより､通知ﾒｰﾙの登録準備ができます。



【ﾒｰﾙ一覧】,【注意ﾒｰﾙ】,【警報ﾒｰﾙ】をｸﾘｯｸ、または、登録先ｺﾈｸﾀを選択した際にﾒｰﾙﾘｽﾄの下にｲﾝｼﾞｹｰﾀｰが表示されます。これは、ﾒｰﾙ総容量に対して現在登録されているﾒｰﾙの容量がどのくらいあるのかを示しています。
これを参考にﾒｰﾙ容量の制限に注意してﾒｰﾙ登録してください。

[6] 登録した通知ﾒｰﾙの内容確認や、誤って登録した通知ﾒｰﾙの削除を行います。

【注意ﾒｰﾙ】、または、【警報ﾒｰﾙ】として登録したﾒｰﾙの内容の確認や、削除を行うことができます。

・登録した通知ﾒｰﾙの内容確認は、以下の手順で行います。

①登録先ｺﾈｸﾀを選択する

登録先の入力ｺﾈｸﾀを【入力 0】または【入力 1】からﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝﾒﾆｭｰで選択します。

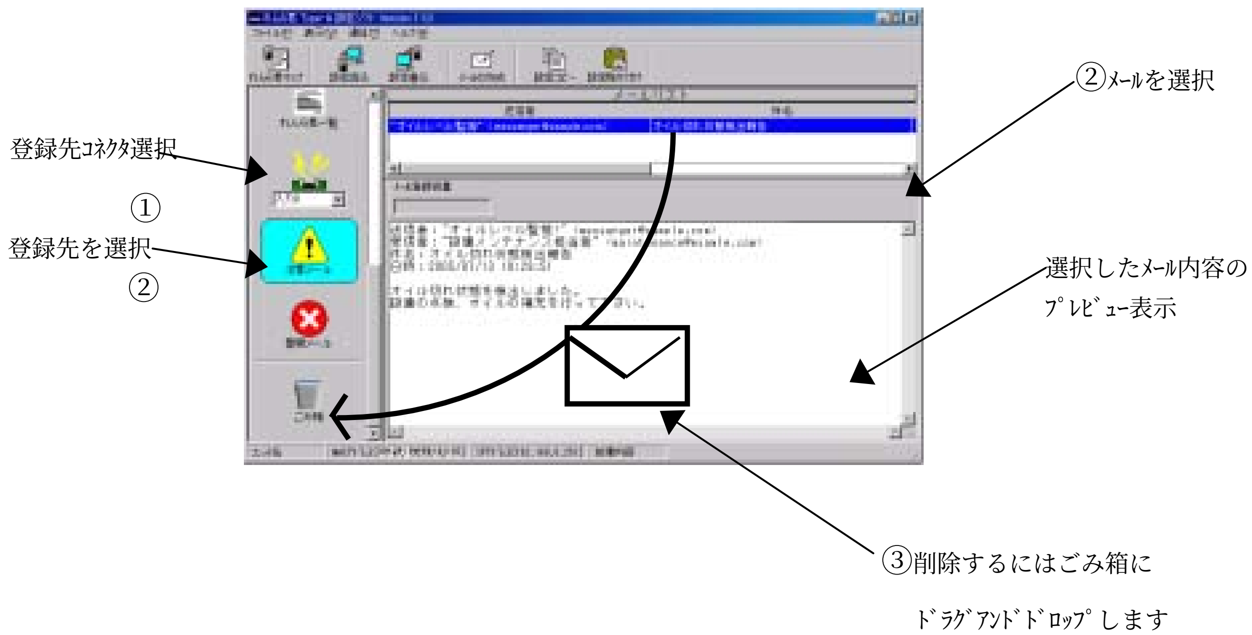
②登録先を選択する

左列の【注意ﾒｰﾙ】、または、【警報ﾒｰﾙ】を選択すると、ﾒｰﾙﾘｽﾄに登録されているﾒｰﾙが表示されます。

ﾒｰﾙﾘｽﾄにあるﾒｰﾙを選択すると、選択されたﾒｰﾙは反転表示され、ﾒｰﾙの内容が【詳細表示画面】にﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ表示されます。

・登録した通知ﾒｰﾙを削除するには、ﾒｰﾙﾘｽﾄに表示されたﾒｰﾙを選択し、ごみ箱にﾄﾞﾗｸﾞｱﾝﾄﾞﾄﾞﾛｯﾌﾟします。

ごみ箱にﾄﾞﾗｸﾞｱﾝﾄﾞﾄﾞﾛｯﾌﾟしたﾒｰﾙは、完全に削除されます。



[7]設定をれんら君に保存します

設定が終われば、「設定書込」をｸﾘｯｸしてください。設定をれんら君に保存して、ﾒｰﾙの登録を行います。れんら君にﾒｰﾙが転送され、れんら君にﾒｰﾙの登録が完了します。
（設定書込の実行ついて詳細は、後述の 7-2 項を参照ください）

れんら君に設定の保存が完了すれば「正常に終了しました。」と表示が出てきます。

以上で、れんら君の設定は完了しました。動作を確認の上、れんら君をご使用ください。

7-2　れんら君の設定を保存、読出をする。

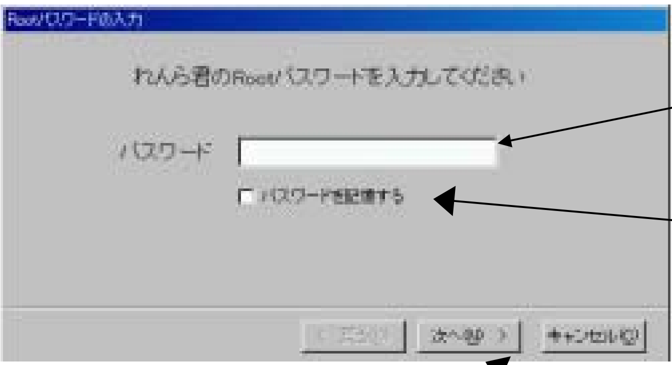
[1]れんら君ﾘｽﾄかられんら君を選びｸﾘｯｸする
　　(れんら君ﾘｽﾄについては 7-1 項の[3]を参照下さい)

[2]「設定読込」、「設定書込」のいずれか一つをｸﾘｯｸして下さい

[3]れんら君と通信できるﾈｯﾄﾜｰｸ環境にご使用のﾊﾟｿｺﾝを設定します。ご使用のﾊﾟｿｺﾝがれんら君と通信できなければ、接続ｳｨｻﾞｰﾄﾞが表示されます。画面の指示に従って、ﾈｯﾄﾜｰｸ環境を設定して下さい。れんら君と通信できる設定であれば、接続ｳｨｻﾞｰﾄﾞが表示されずに Root ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力ﾀﾞｲｱﾛｸﾞが表示されます。[4]へ進みます。

＜注意＞ご使用のﾊﾟｿｺﾝのﾈｯﾄﾜｰｸ環境を設定した場合、れんら君の設定後にﾈｯﾄﾜｰｸ環境を変更前に戻して下さい。ﾈｯﾄﾜｰｸ環境を戻さなければｲﾝﾀｰﾈｯﾄ、ﾒｰﾙなどのｻｰﾋﾞｽが利用できない可能性があります。

[4]Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力する



root と入力します。
(初期値は root です)

入力したﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを保存して、認証に使い続ける場合は、ﾁｪｯｸをつけます。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力したら認証ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸします。

＜注意＞Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞﾀﾞｲｱﾛｸﾞは、「設定読込」、「設定書込」等をｸﾘｯｸした場合に表示され、Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力を行います。
(Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞについて詳細は、後述の 9-1 項を参照下さい)

＜注意＞れんら君の設定を保存するときに再起動して、STAT　LED が点滅します。このとき、READYﾘﾚｰ接点は閉となります。
(READYﾘﾚｰ接点について詳細は、ﾊｰﾄﾞｳｪｱﾏﾆｭｱﾙを参照下さい)

・「れんら君が設定ﾓｰﾄﾞで起動していません。」が表示された場合は、以下の手順に従って、れんら君を再起動して下さい。再起動後、[2]からやり直します。

①れんら君の電源を切ります。
②ｼｬｰﾌﾟﾍﾟﾝｼﾙの先などでれんら君の後背面の設定ｽｲｯﾁを押しながら、れんら君に電源を入れます。
③約 10 秒押しつづければ、STAT　LED が点滅し設定ﾓｰﾄﾞでれんら君が起動します。
④設定ｽｲｯﾁを押すのを止めます。
⑤ [2]からやり直してください。

8　ﾒｰﾙ登録における追加事項

8-1　入力名の設定

れんら君では入力名のことを基本的に「入力 0」「入力 1」と呼びますが、それぞれをどのように使い分けているのかをれんら君設定ｿﾌﾄ上で見分けやすく出来るように入力名にﾗﾍﾞﾙをつける事が出来ます。

①入力ｱｲｺﾝをｸﾘｯｸしてﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝﾒﾆｭｰを表示する
②入力名を選択して反転状態にする



③入力名を入力してから、[Enter]ｷｰで決定する

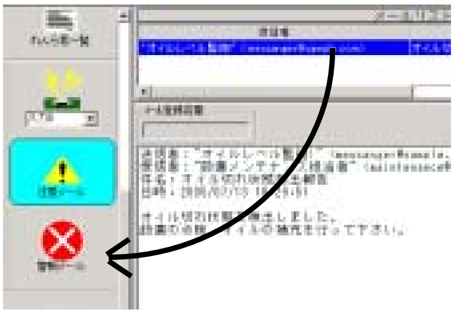


④入力ｱｲｺﾝに変更後の入力名が設定されます
（れんら君の動作に直接関係しません。入力名はれんら君設定ｿﾌﾄ上での識別用に設定します）

8-2　　【注意ﾒｰﾙ】、【警報ﾒｰﾙ】間でﾒｰﾙを移動する。



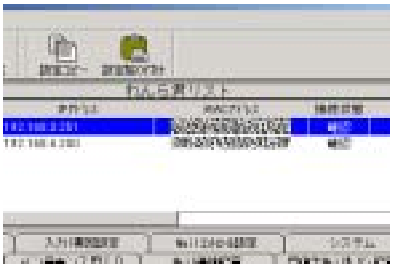
①【注意ﾒｰﾙ】ｱｲｺﾝ(移動元)をｸﾘｯｸする



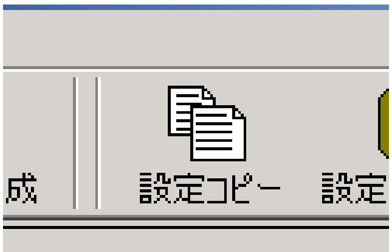
②ﾒｰﾙﾘｽﾄのﾒｰﾙを【警報ﾒｰﾙ】（移動先）にﾄﾞﾗｯｸﾞｱﾝﾄﾞﾄﾞﾛｯﾌﾟする

8-3　　設定のｺﾋﾟｰｱﾝﾄﾞﾍﾟｰｽﾄ

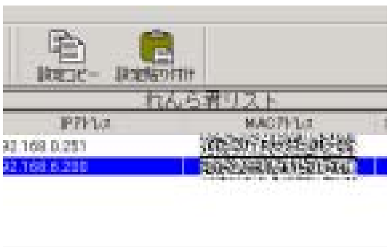
設定ﾃﾞｰﾀをｺﾋﾟｰｱﾝﾄﾞﾍﾟｰｽﾄで貼り付けることが出来ます。複数のれんら君を設定するとき、一度設定したﾃﾞｰﾀを利用して他のれんら君の設定ﾃﾞｰﾀを作成するときに便利です。



①れんら君ﾘｽﾄからｺﾋﾟｰ元のれんら君をｸﾘｯｸします



②設定ｺﾋﾟｰをｸﾘｯｸします



③れんら君ﾘｽﾄからｺﾋﾟｰ先のれんら君をｸﾘｯｸします

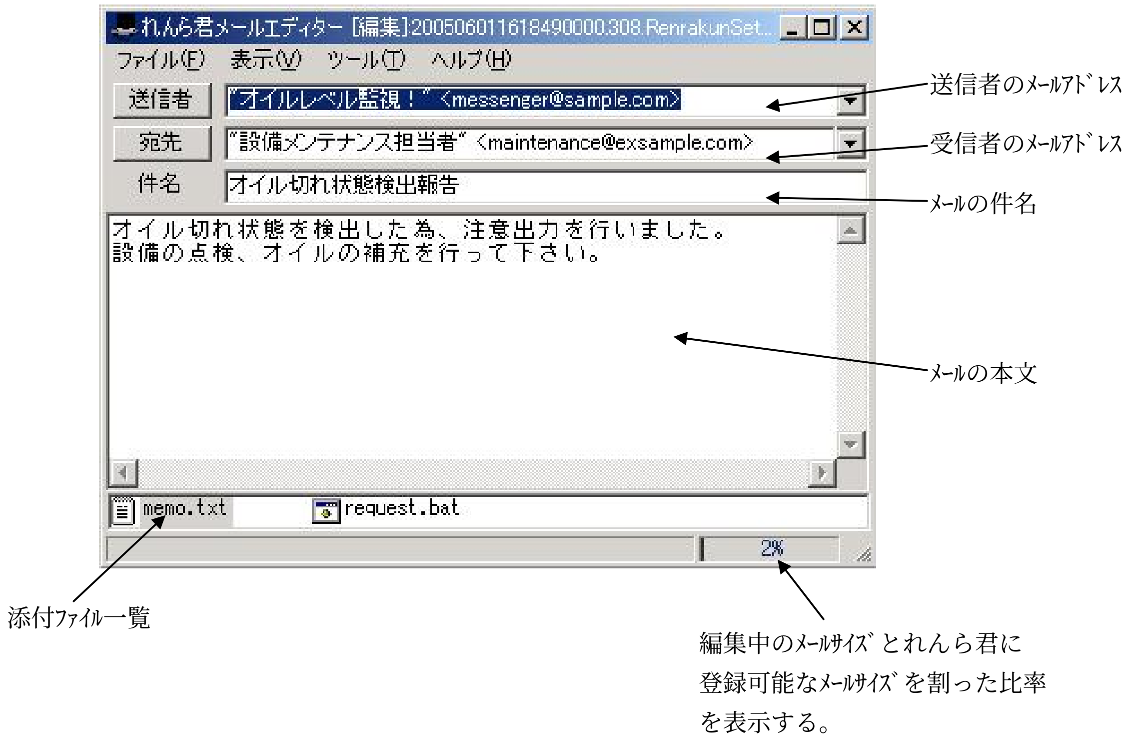


④設定貼り付けをｸﾘｯｸします

設定ｿﾌﾄ上での設定内容のｺﾋﾟｰになりますので「設定書込」でれんら君に設定を保存してください。

8-4　　ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰ

れんら君で出力するﾒｰﾙの作成と設定ｿﾌﾄに登録済みのﾒｰﾙの内容を編集できます。



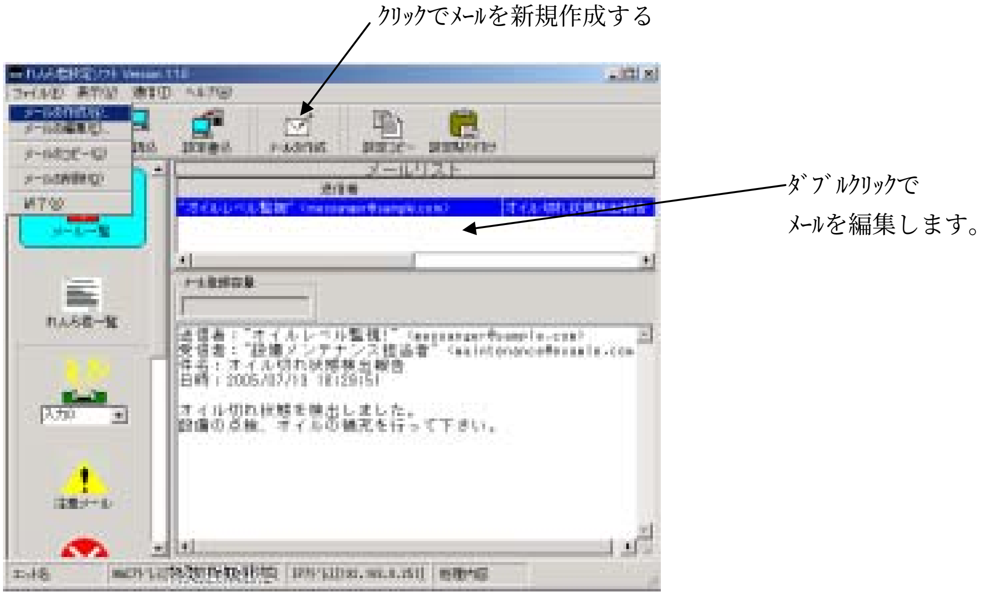
[1]設定ｿﾌﾄからﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰを起動する

・ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰでﾒｰﾙを新規作成する

「ﾒｰﾙの作成」ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸします。または、ﾌｧｲﾙ(F)→ﾒｰﾙの作成(N)...をｸﾘｯｸします。

・ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰで登録済みのﾒｰﾙを編集する

ﾒｰﾙﾘｽﾄから編集対象のﾒｰﾙをﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸします。または、ﾒｰﾙﾘｽﾄから編集対象のﾒｰﾙを選択後にﾌｧｲﾙ(F)→ﾒｰﾙの編集(E)...をｸﾘｯｸします。



[2]送信者、宛先のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力する

ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰのｱﾄﾞﾚｽ帳を参照して、送信者のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽと宛先のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力します。

ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰのｱﾄﾞﾚｽ帳は、他のﾒｰﾙｿﾌﾄからﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽのｲﾝﾎﾟｰﾄ、ｴｸｽﾎﾟｰﾄは行えません。

ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰ用にﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽをｱﾄﾞﾚｽ帳に追加してください。

①ｱﾄﾞﾚｽ帳を開きます。

クリック



②ｱﾄﾞﾚｽ帳を編集します。

ｱﾄﾞﾚｽ帳に登録済みの
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの一覧



ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを追加する

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを編集する

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを削除する

③送信者、宛先のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力する



送信者、宛先に入力するﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの一覧

「送信者→」
「宛先→」「ＣＣ→」「ＢＣＣ→」
ｱﾄﾞﾚｽ帳に登録されたﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力するﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの一覧に追加します。

「解除←」
入力するﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの一覧からﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを削除します。

ｸﾘｯｸすると画面を閉じてﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力します

・ｱﾄﾞﾚｽ帳を使用しないで、送信者、宛先のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力する



ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを直接入力する場合

宛先のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを Cc ,または、Bcc に指定する際は、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの前に「**CC：(半角ｺﾛﾝ)** 」,「**BCC：(半角ｺﾛﾝ)**」を付け足して下さい。

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽとﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの間は、「，」 (半角ｶﾝﾏ)で区切って下さい。

ex:)e.support@nke.co.jp,CC:messenger@example.com

 **ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの入力履歴から選択する**

をｸﾘｯｸすると以前に入力されたﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの履歴が表示されます。ﾘｽﾄからﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを選択すると挿入されます。

ﾘｽﾄから複数のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力する場合ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽとﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの間を 「，」 (半角ｶﾝﾏ)で区切って下さい。

[3]ﾒｰﾙの文面を編集する

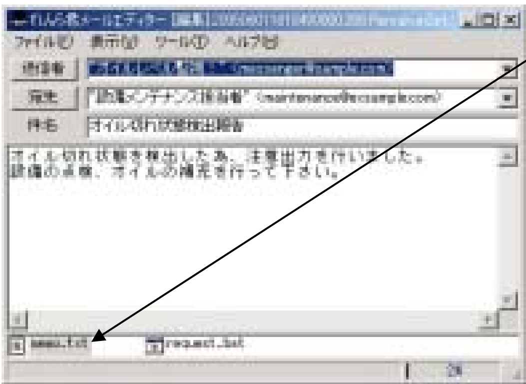
・ﾌｧｲﾙを添付する



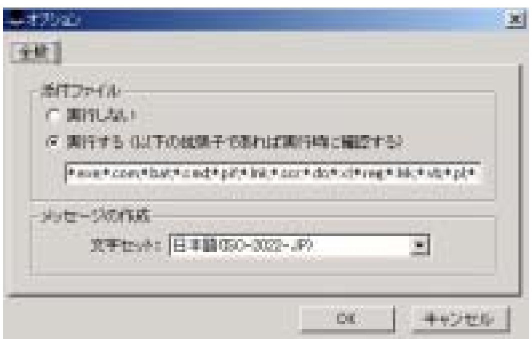
ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗｰなどからﾌｧｲﾙをﾄﾞﾗｯｸﾞして
ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰにﾄﾞﾛｯﾌﾟします。または、
ﾌｧｲﾙ(F)→添付ﾌｧｲﾙ(A)→追加(A)..で
ﾌｧｲﾙの添付ﾀﾞｲｱﾛｸﾞから選択します。

・ﾌｧｲﾙの内容を確認する

ﾌｧｲﾙの種類から対応したｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝが起動します。ﾌｧｲﾙの内容が確認できます。
ﾂｰﾙ(T)→ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)..からﾌｧｲﾙの内容の確認操作を許可・不許可を切り替えることができます。さらに、ｳｲﾙｽの可能性があるﾌｧｲﾙの内容を確認するごとにﾒｯｾｰｼﾞで注意を促すことができます。



添付ﾌｧｲﾙ一覧からﾌｧｲﾙをﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸします。または、
ﾌｧｲﾙを選択後、ﾌｧｲﾙ(F)→添付ﾌｧｲﾙ(A)→開く(O)...
ｸﾘｯｸします。右ｸﾘｯｸで表示されるﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝﾒﾆｭｰの
開く(O)...でも同じ操作が行えます。



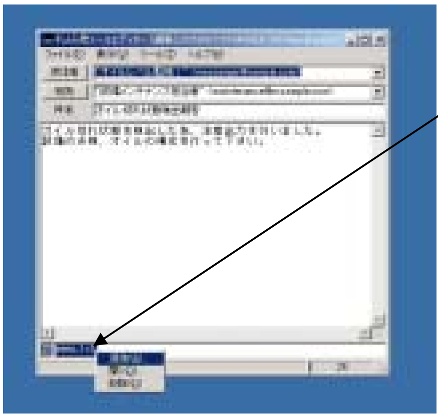
「実行しない」でﾌｧｲﾙ内容の確認を不許可にします。「実行する」を選択して、ｳｲﾙｽの可能性があるﾌｧｲﾙの拡張子を ＊(ｱｽﾀﾘｽｸ).（半角ﾋﾟﾘｵﾄﾞ)ﾌｧｲﾙの拡張子；(半角ｾﾐｺﾛﾝ) の書式で 入力します。

ex:)　＊．exe；＊．com；

・ﾌｧｲﾙをｺﾋﾟｰする

添付ﾌｧｲﾙ一覧からｺﾋﾟｰ対象のﾌｧｲﾙをﾄﾞﾗｯｸﾞして、ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗｰなどにﾄﾞﾛｯﾌﾟします。

・ﾒｰﾙからﾌｧｲﾙを削除する



添付ﾌｧｲﾙ一覧から削除対象のﾌｧｲﾙをｸﾘｯｸで選択します。右ｸﾘｯｸで表示するﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝﾒﾆｭｰから削除(D)、または、ﾌｧｲﾙ(F)→添付ﾌｧｲﾙ(A)→削除(D)をｸﾘｯｸします。

＜注意＞文字の種類がﾒｰﾙﾃﾞｰﾀに記述されていない場合に文字が化けが発生することがあります。表示(V)→文字ｺｰﾄﾞ(C)から既定の文字を設定して下さい。ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰで対応している文字の種類は以下の通りです。

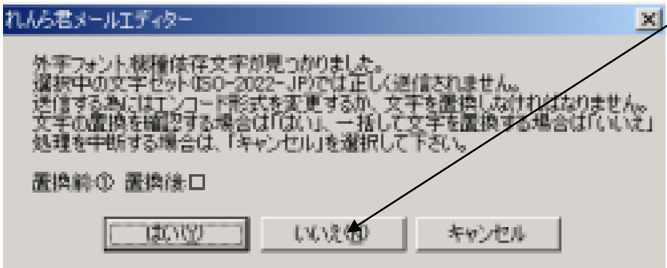
日本語(ISO-2022-JP)	Unicode(UTF-8)
日本語(ｼﾌﾄJIS)	Unicode(UTF-7)
日本語(EUC-JP)	

＜注意＞ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰは、ﾃｷｽﾄ形式で本文を編集します。編集するﾒｰﾙの本文が html 形式などが混在していた場合にれんら君で出力されたﾒｰﾙが正しく表示できないことがあります。ﾒｰﾙｿﾌﾄの設定をﾃｷｽﾄ形式の本文を表示するようにしてください。また、ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰはﾊｲﾊﾟｰﾃｷｽﾄには対応していません。

[4]編集内容を保存する

ﾌｧｲﾙ(F)→ﾒｰﾙﾘｽﾄに保存(S)､または､ﾌｧｲﾙ(F)→ﾒｰﾙﾘｽﾄに追加(N)で編集内容を保存します。

保存時に機種依存文字、外字ﾌｫﾝﾄなどﾒｰﾙの受信先で正しく表示できない可能性がある文字を使用すると文字の置換ﾀﾞｲｱﾛｸﾞが表示されます。



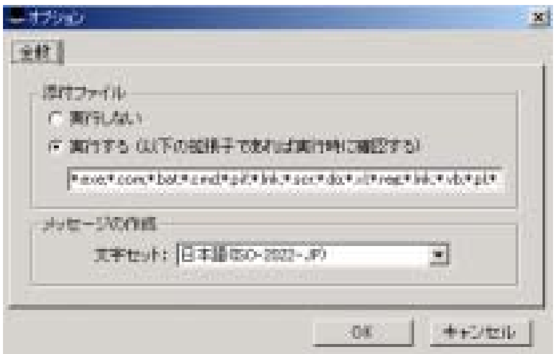
「はい」
　対象の文字を確認しながら、代わりの文字に置換します。

「いいえ」
　対象の文字を見つけ次第、代わりの文字に置換します。

「ｷｬﾝｾﾙ」

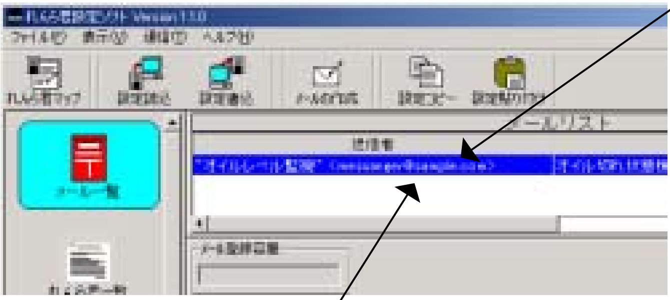
・文字の種類を指定して保存する

ﾂｰﾙ(T)→ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)...をｸﾘｯｸします。「ﾒｯｾｰｼﾞの作成」の文字ｾｯﾄのﾘｽﾄから保存するﾒｰﾙの文字の種類を選択します。「OK」をｸﾘｯｸしてから、ﾒｰﾙを保存してください。



＜注意＞通知ﾒｰﾙに登録されているﾒｰﾙを編集した場合、ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰを終了後に設定ｿﾌﾄは通知ﾒｰﾙの再登録処理を行います。編集後のﾒｰﾙが登録できなかった場合、れんら君の通知ﾒｰﾙの登録が初期化されます。

8-5　　キー操作、又は、ポップアップメニューでメールを登録する



[Up]キー押下、[Down]キー押下
メールの選択、又は、れんら君の選択を切り替える
[Enter]キー押下
メールの編集をする
[Delete]キー押下
メール、又は、れんら君の設定ファイルの削除

右クリックでポップアップメニューを表示します。ポップアップメニューで以下の操作が行えます。

名称 1	名称 2	名称 3	操作説明
メール登録(R)	入力 0	注意メール	入力 0 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 0 の警報メールに登録する
	入力 1	注意メール	入力 1 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 1 の警報メールに登録する
削除(D)			メール、又はれんら君の設定ファイルを削除
解除(C)			メールを通知メールの登録から削除する

9　ｾｷｭﾘﾃｨ

ﾈｯﾄﾜｰｸｾｷｭﾘﾃｨとして、れんら君の設定を保存、読出の際に使用するﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定が行えます。

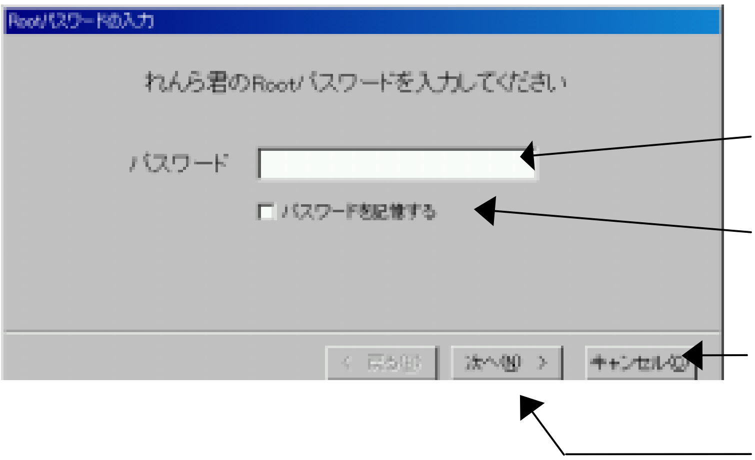
9-1　管理者権限認証

(1)管理者権限認証について

設定ｿﾌﾄから管理者権限を持つﾕｰｻﾞｰからの操作であることをれんら君に証明するために Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力を行います。

(2)ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ認証

「設定読込」、「設定書込」を実行すると Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力ﾀﾞｲｱﾛｸﾞが表示されます。



ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ認証に成功すれば、れんら君に設定の保存、読出を行います。以降の設定の保存、読出を実行する際には、Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力を省略します。

<u>ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを省略できる期間は、設定ｿﾌﾄを終了する迄の間だけですが、「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを記憶する」にﾁｪｯｸをつければ、次回の起動時もﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの認証を省略できます。</u>

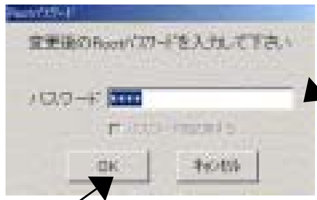
(3)ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更

[1]設定の[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用 ID]ﾀﾌﾞの Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを編集します。

（設定の編集ﾌｫｰﾑの表示について詳細は、前述 7-1 項を参照下さい）



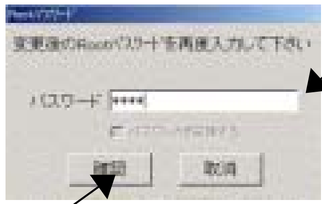
任意のｷｰで編集ﾀﾞｲｱﾛｸﾞが表示されます



①rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力する

大文字、小文字を区別します。

②OK をｸﾘｯｸ



③①を再入力する

④確認をｸﾘｯｸ

Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの設定値は、必ず控えをとって下さい。

[2]「設定書込」をｸﾘｯｸします。

(設定書込の実行について詳細は、前述 7-2 項を参照下さい)

(4)ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの内容を忘れてしまった場合

[1]れんら君を工場出荷状態にする

れんら君の設定を工場出荷状態に初期化する手順は以下の通りです。

①れんら君の電源を切ります。

②ｼｬｰﾌﾟﾍﾟﾝｼﾙの先などでれんら君の後背面の設定ｽｲｯﾁを押しながら､れんら君に電源を入れます。

③約 10 秒押しつづければ､STAT　LED が点滅し設定ﾓｰﾄﾞでれんら君が起動します。

④設定ｽｲｯﾁを押すのを止めます。

⑤再度、設定ｽｲｯﾁを数秒押し続けて、STAT　LED が消灯、れんら君が再起動します。

[2]再度、れんら君の設定をする

(れんら君の設定について詳細は、前述　7章を参照下さい)

10　ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙ機能

10-1 ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙ機能について

ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙとは、電子ﾒｰﾙにより、れんら君の制御や状態取得を行う機能です。
ﾊﾟｿｺﾝや携帯電話から電子ﾒｰﾙを送ることで、遠隔地かられんら君の制御を行うことが出来ます。

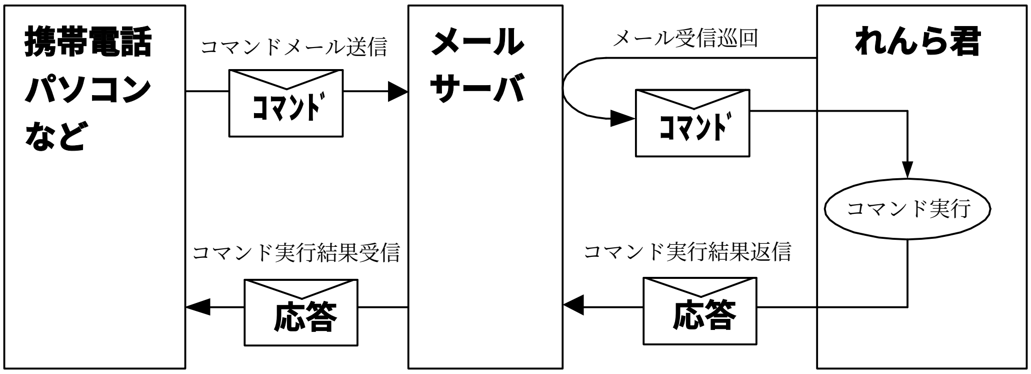


図 10-1 ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙ実行動作概要

ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙにより、以下の機能を使用することが出来ます。

表 10-1 ｺﾏﾝﾄﾞ一覧

項番	ｺﾏﾝﾄﾞ名	機能
1	STATUS	れんら君の動作状態,接点の入出力状態を取得します。
2	START	れんら君を状態監視状態にします。
3	STOP	れんら君の状態監視状態を解除します。
4	FSHOT	れんら君の出力ﾘﾚｰを指定時間だけ強制 ON します。(指定時間範囲:100ms～10000ms)
5	FON	れんら君の出力ﾘﾚｰを強制出力状態にし、出力を ON に固定します。
6	FOFF	れんら君の出力ﾘﾚｰを強制出力状態にし、出力を OFF に固定します。
7	FRESET	れんら君の出力ﾘﾚｰの強制出力状態を解除し、通常出力に戻します。
8	STOPOFF	れんら君の状態監視状態を解除します。 同時に、出力ﾘﾚｰの強制出力状態を解除します。

10-2 ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙの作成方法

10-2-1 ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙのﾌｫｰﾏｯﾄ

ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙを送信するには、下記のように,件名,本文を入力する必要があります。

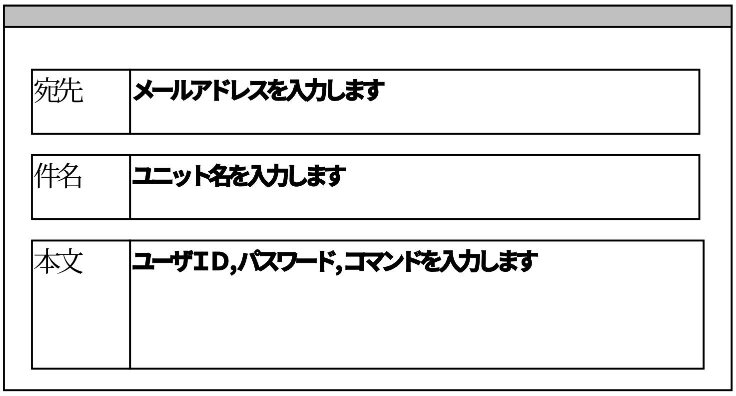


図 10-2-1 ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙ入力項目

(1)宛先

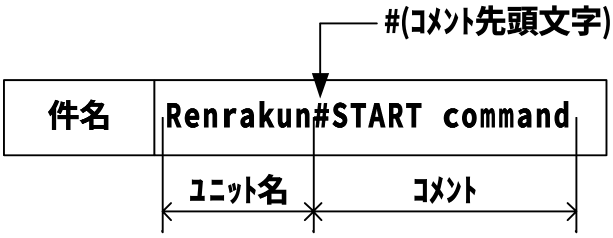
れんら君がﾒｰﾙ受信を行うﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力します。

(2)件名

れんら君のﾕﾆｯﾄ名を半角英数で入力します。
れんら君は、件名欄に入力されたﾕﾆｯﾄ名により、実行するｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙを判別し、該当するﾒｰﾙのみ読込･実行します。
実行完了したﾒｰﾙは削除されます。

ﾕﾆｯﾄ名の後ろにｺﾒﾝﾄを追加することも出来ます。
ｺﾒﾝﾄを入力するには、れんら君のﾕﾆｯﾄ名の後ろに#を入力し、その後にｺﾒﾝﾄを半角英数で入力します。
ｺﾒﾝﾄの文字数は 40 文字までです。

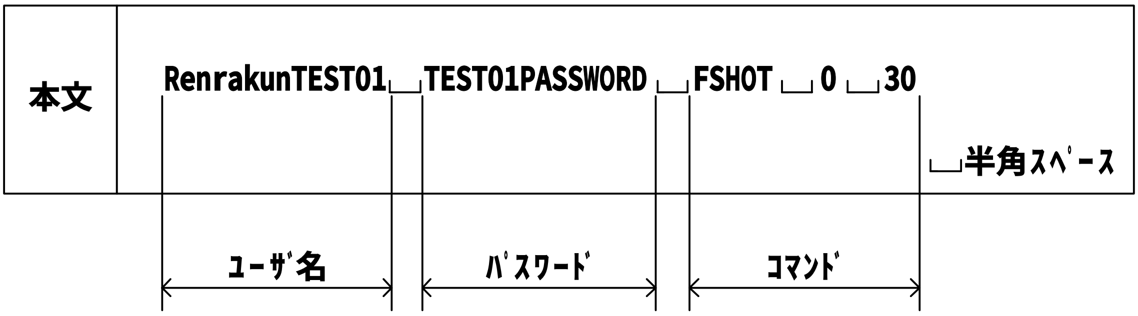
(例) れんら君のﾕﾆｯﾄ名 : Renrakun
ｺﾒﾝﾄの場合 : START command



(3)ﾒｰﾙ本文

ﾒｰﾙ本文の最初の行に、認証用のﾕｰｻﾞ名,ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞと実行するｺﾏﾝﾄﾞを入力します。ﾕｰｻﾞ名,ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ,ｺﾏﾝﾄﾞ及び、ｺﾏﾝﾄﾞの引数はそれぞれ 1 つの半角ｽﾍﾟｰｽで区切り、一行以内に入力します。
行の終端の改行の有無は関係ありません。

(例) ﾕｰｻﾞ名　　: RenrakunTEST01
　　 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　 : TEST01PASSWORD
　　 ｺﾏﾝﾄﾞ　　 : FSHOT 0 30
を実行する場合



(4)応答先

ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙの実行結果はﾒｰﾙ送信元に返信されます。

ﾒｰﾙ送信元から、応答先が指定されている場合は指定されたﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽへ
実行結果を返信します。
通常は、送信元へｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙの実行結果を返信します。

10-3 ｺﾏﾝﾄﾞ説明

(1)**STATUS**

れんら君の動作状態と接点の入出力状態を取得します。

<ｺﾏﾝﾄﾞ構文>

```
STATUS
```

<ﾚｽﾎﾟﾝｽ>

```
+OK "STATUS"
STATUS:RUN
IN0    :OFF
IN1    :OFF
OUT0   :OFF
```

(2)**START**

れんら君を状態監視状態にします。

<ｺﾏﾝﾄﾞ構文>

```
START
```

<ﾚｽﾎﾟﾝｽ>

```
+OK "START"
```

(3)**STOP**

れんら君の状態監視状態を解除します。

<ｺﾏﾝﾄﾞ構文>

STOP

<ﾚｽﾎﾟﾝｽ>

+OK "STOP"

(4)**FSHOT**

れんら君の出力ﾘﾚｰを指定時間だけ強制 ON します。

<ｺﾏﾝﾄﾞ構文>

FSHOT [*I/O 番号*] [*出力時間*]

I/O 番号 :I/O 番号を指定します。現在は 0 固定です。
出力時間 :100ms 単位で指定します。
出力時間誤差は、設定値+10ms,-0ms です。
設定範囲は、1～100 です。

<ﾚｽﾎﾟﾝｽ>

+OK "FSHOT"

Output 1000ms pulse complete

<例>2000ms 間、強制 ONﾊﾟﾙｽを出力する場合

FSHOT 0 20

(5)**FON**

れんら君の出力ﾘﾚｰを強制 ON します。

FRESETｺﾏﾝﾄﾞによって強制出力を解除するまで強制出力状態は続きます。

<ｺﾏﾝﾄﾞ構文>

FON [*I/O 番号*]

I/O 番号 :I/O 番号を指定します。現在は 0 固定です。

<ﾚｽﾎﾟﾝｽ>

+OK "FON"

<例>接点 0 を強制 ON 状態にする場合

FON 0

(6)**FOFF**

れんら君の出力ﾘﾚｰを強制 OFF します。

FRESETｺﾏﾝﾄﾞによって強制出力を解除するまで強制出力状態は続きます。

<ｺﾏﾝﾄﾞ構文>

FOFF [*I/O 番号*]

I/O 番号 :I/O 番号を指定します。現在は 0 固定です。

<ﾚｽﾎﾟﾝｽ>

+OK "FOFF"

<例>接点 0 を強制 OFF 状態にする場合

FOFF 0

(7)**FRESET**

れんら君の出力ﾘﾚｰの強制出力状態を解除し､通常出力に戻します。

<ｺﾏﾝﾄﾞ構文>

FRESET [*I0番号*]

I/0番号 :I/O 番号を指定します｡現在は 0 固定です。

<ﾚｽﾎﾟﾝｽ>

+OK "FRESET"

<例>接点 0 の強制出力状態を解除する

FRESET 0

(8)**STOPOFF**

れんら君の状態監視状態を解除し､全ての出力ﾘﾚｰの強制出力状態を解除します。

<ｺﾏﾝﾄﾞ構文>

STOPOFF

<ﾚｽﾎﾟﾝｽ>

+OK "STOPOFF"

10-4 ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ

ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙを実行することが出来ない場合、れんら君からｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞを含んだ応答ﾒｰﾙを返信します。
ｴﾗｰとなる要因は、以下の通りです。

(1)認証失敗

<ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ>

-ERR unmatch USERNAME or PASSWORD

<ｴﾗｰの要因>

ﾕｰｻﾞ名または、ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが設定された値と異なる為、認証に失敗。
ﾕｰｻﾞ名または、ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞに誤りがあると考えられます。
ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄの大文字・小文字の誤り、入力ﾐｽが原因として考えられます。

(2)無効なｺﾏﾝﾄﾞ

<ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ>

-ERR "*ｺﾏﾝﾄﾞ名*" command not found

<ｴﾗｰの要因**>**

入力されたｺﾏﾝﾄﾞが、無効なｺﾏﾝﾄﾞの為、実行不可能。
入力されたｺﾏﾝﾄﾞに誤りがあると考えられます。

(3)ｺﾏﾝﾄﾞ引数異常

<ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ>

-ERR "*ｺﾏﾝﾄﾞ名*" command argument wrong

<ｴﾗｰの要因**>**

入力されたｺﾏﾝﾄﾞ引数が、定められたﾌｫｰﾏｯﾄと異なる。
ｺﾏﾝﾄﾞ引数の数が異なる場合や、引数の範囲が規定範囲外であることなどが原因として考えられます。

11　設定項目一覧・設定ﾁｪｯｸｼｰﾄ

れんら君はﾈｯﾄﾜｰｸ設定、入出力設定を行って初めて正常にご使用することができます。
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定は、必ず設定する必要がある項目やれんら君をご使用になられる接続環境や用途により、設定を変更する必要がある項目があります。

設定項目一覧より必要な項目を確認し、設定ﾁｪｯｸｼｰﾄに書き込むと便利です。

11-1　設定項目一覧

設定項目一覧です。必要な項目を確認の上、ﾁｪｯｸｼｰﾄに設定を書き込んでお手元に保存してください。

れんら君設定項目一覧

a	b	c	項目名	出荷時設定値	項目説明
a			通常のﾒｰﾙ発信を行う場合		
	b		SMTPｻｰﾊﾞ認証ﾀｲﾌﾟがPOP-before-SMTPの場		
		c	ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙによりれんら君のｺﾝﾄﾛｰﾙを行う場合		
●	●	●	IPｱﾄﾞﾚｽ	192.168.　0.251	B．1
○	○	○	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	255.255.255.　0	
●	●	●	ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ	0.　0.　0.　0	
○	○	○	ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞIP	0.　0.　0.　0	
			ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞIP	0.　0.　0.　0	
○	○	●	ﾕﾆｯﾄ名		B．2
		●	ﾕｰｻﾞ名		
		●	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ		
●	●	●	rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	root	
○	○	○	入力0注意判定時間	10.0(秒)	B．3．1
			入力0注意出力時間	0.0(秒)	
			入力0警報判定時間	10.0(秒)	
			入力0警報出力時間	0.0(秒)	
○	○	○	入力0極性	Low	
○	○	○	入力1注意判定時間	10.0(秒)	B．3．2
			入力1注意出力時間	0.0(秒)	
			入力1警報判定時間	10.0(秒)	
			入力1警報出力時間	0.0(秒)	
○	○	○	入力1極性	Low	
●	●	●	SMTPｻｰﾊﾞ		B．4
○	○	○	SMTPﾎﾟｰﾄ	25	
○	○	○	SMTP認証ﾀｲﾌﾟ	Normal SMTP	
○	○	○	送信ﾘﾄﾗｲ間隔	30(秒)	
○	○	○	送信ﾘﾄﾗｲ回数	0(無限回)	
	●	●	POP3ｻｰﾊﾞ		B．5
	○	○	POP3ﾎﾟｰﾄ	110	
	●	●	POP3ｱｶｳﾝﾄ名		
	●	●	POP3ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ		
		●	POP3問合せ間隔	0(問合せしない)	B．6
		●	返信用Fromｱﾄﾞﾚｽ		

●　：必ず設定する必要がある項目です。

○　：接続環境や用途により、設定を変更する必要があります。

空欄：ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値のまま､設定する必要はありません。

11-2　設定ﾁｪｯｸｼｰﾄ

11-2-1　れんら君ﾈｯﾄﾜｰｸ設定

（1）IPｱﾄﾞﾚｽ

れんら君に割当てる IPｱﾄﾞﾚｽを入力します。

.　　.　　.

（例）192.168.0.251

（2）ﾈｯﾄﾏｽｸ

れんら君を接続するﾈｯﾄﾜｰｸのｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸを入力します。

.　　.　　.

（例）255.255.255.0

（3）ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ

外部のﾈｯﾄﾜｰｸに接続する場合にﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲIPｱﾄﾞﾚｽを入力します。
ﾙｰﾀ等により､ｲﾝﾀｰﾈｯﾄに接続している場合に必要になります。
外部のﾈｯﾄﾜｰｸと接続しない場合は､0.0.0.0 を設定します。

□ 外部ﾈｯﾄﾜｰｸに接続する

ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲIPｱﾄﾞﾚｽを入力します。

.　　.　　.

（例）192.168.0.251

□ しない

0.0.0.0 を入力します。

0. 0. 0. 0

（４）ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞIP

ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞの IPｱﾄﾞﾚｽを入力します。
ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞを使用しない場合は、0.0.0.0 を入力します。
SMTPｻｰﾊﾞ名または、POP3ｻｰﾊﾞ名をﾄﾞﾒｲﾝ名で指定する場合は、「ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞを使用する」を選択してください。

□ ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞを使用する

ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞの IPｱﾄﾞﾚｽを入力します。

. . .

（例）192.168.0.251

□ しない

0.0.0.0 を入力します。

0. 0. 0. 0

（５）ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞIP

ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞの IPｱﾄﾞﾚｽを入力します。
ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞを使用しない場合は、0.0.0.0 を入力します。
SMTPｻｰﾊﾞ名または、POP3ｻｰﾊﾞ名をﾄﾞﾒｲﾝ名で指定する場合は、「ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞを使用する」を選択してください。

□ ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞを使用する

ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞの IPｱﾄﾞﾚｽを入力します。

. . .

（例）192.168.0.251

□ しない

0.0.0.0 を入力します。

0. 0. 0. 0

11-2-2　れんら君ＩＤ設定

（１）ﾕﾆｯﾄ名

れんら君識別用の名称を入力します。
半角英数文字で最大 16 文字まで入力できます。
ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄの大文字･小文字を区別します。
#は使用出来ません。
複数台のれんら君を使用する場合は､個別の名称を設定するようにして下さい。

(例)Renrakun

(2) ﾕｰｻﾞ名

れんら君ﾕｰｻﾞ認証用のﾕｰｻﾞ名を入力します。
半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。
ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄの大文字･小文字を区別します。

(例)RenrakunTEST01

(3) ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

れんら君ﾕｰｻﾞ認証用のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ名を入力します。
半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。
ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄの大文字･小文字を区別します。

(例)RenrakunTEST01

(4) rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

れんら君設定用のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力します。
半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。
ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄの大文字･小文字を区別します。

(例)root

11-2-3　Mail 送信設定

（１）SMTPｻｰﾊﾞ

ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞから取得した SMTPｻｰﾊﾞ(ﾒｰﾙ送信用ｻｰﾊﾞ)の名称、または、IPｱﾄﾞﾚｽを入力します。

SMTPｻｰﾊﾞの名称が、ﾄﾞﾒｲﾝ名により指定される場合は、11-2-１(4),(5)にて DNSｻｰﾊﾞの設定が必要になります。

半角文字で最大 40 文字まで入力できます。

□ ﾄﾞﾒｲﾝ名指定　[　　　　　　　　　　]

（例）smtp.example.com

→ 11-2-1（４）,(５)DNS 設定を行って下さい。

□ IPｱﾄﾞﾚｽ指定　[　　.　　.　　.　　]

（例）192.168.0.251

（２）SMTPﾎﾟｰﾄ

ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞから取得した、SMTPｻｰﾊﾞのﾎﾟｰﾄ番号を入力します。

通常は、25(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値)です。

[　　　　　]

（例）25

（３）SMTP 認証ﾀｲﾌﾟ

ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞから取得した、SMTPｻｰﾊﾞへの認証方法を入力します。

通常は、Normal SMTP(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値)です。

SMTPｻｰﾊﾞの認証方法が、POP before SMTP に設定されている場合は、11-2-5 Mail 受信設定を行って下さい。

□ Normal SMTP
□ POP before SMTP

→ 11-2-5　Mail 受信設定を行って下さい。

（4）送信ﾘﾄﾗｲ間隔

ﾒｰﾙ送信に失敗した場合の､送信ﾘﾄﾗｲするまでの待機時間を秒単位で入力します。

0 に設定すると､ﾒｰﾙの送信ﾘﾄﾗｲを行いません。

（例）30(秒)

（5）送信ﾘﾄﾗｲ回数

ﾒｰﾙ送信に失敗した場合に送信ﾘﾄﾗｲする回数の上限を入力します。

ﾘﾄﾗｲ回数が上限を超えれば、一定時間待機後にﾒｰﾙの再送信を行います。

1 以上が設定されている場合は、11-2-7 （１）の設定を行ってください。

0 に設定すると､無限にﾘﾄﾗｲを行います。

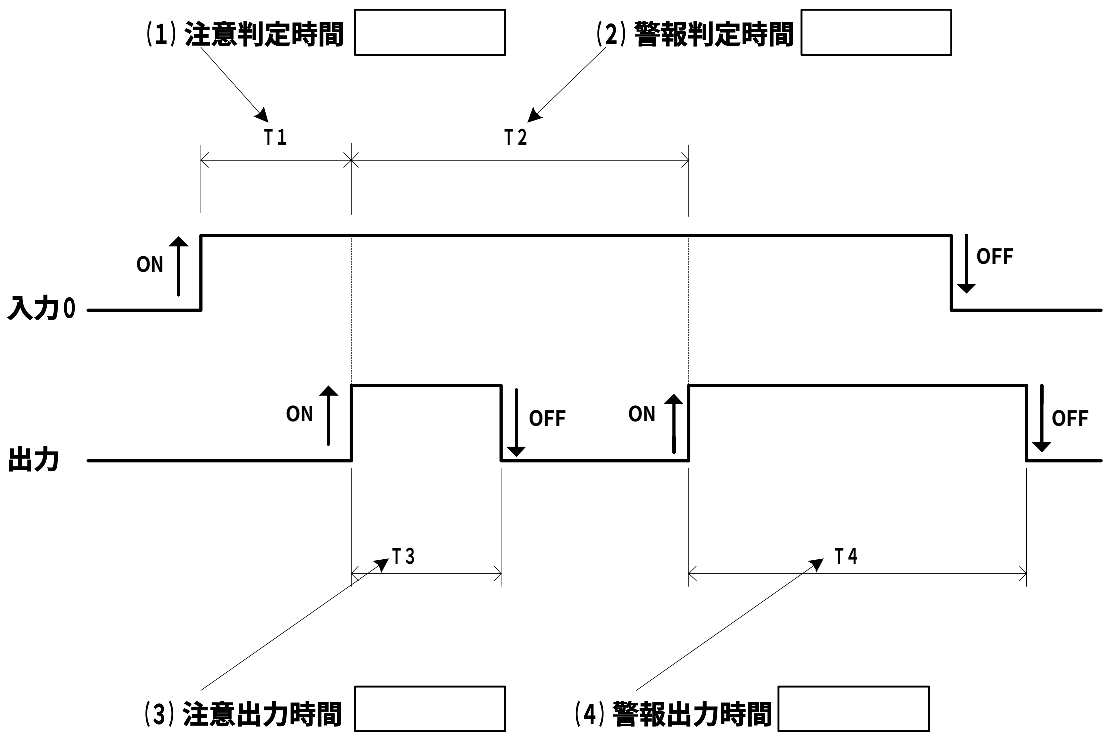
（例）10(回)

11-2-4　入力要因設定

11-2-4　(a)入力０要因設定

入力０の判定時間，出力時間の設定を行います。
判定時間，出力時間ともに、設定範囲は 0.0 秒～65.5 秒です。

判定時間を 0.0 秒に設定すると、即入力を検出します。
出力時間を 0.0 秒に設定した場合でも、通報用のﾒｰﾙが登録されている場合は、直ちに登録されているﾒｰﾙを送信します。



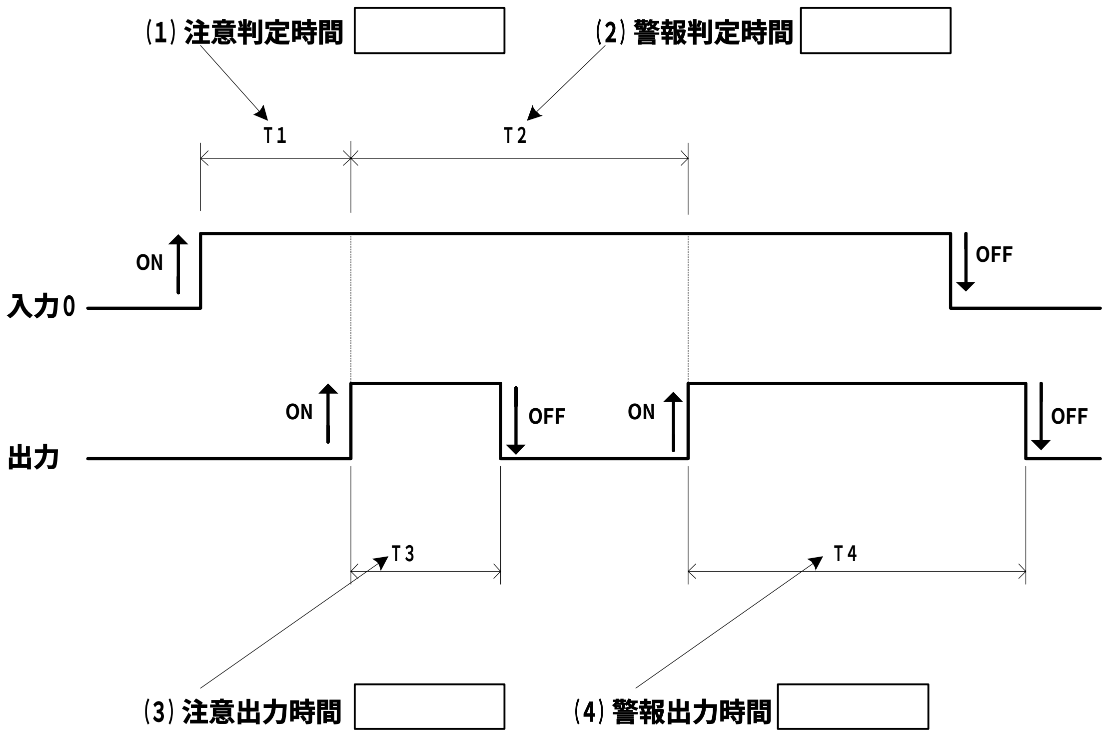
（５）入力０極性設定
入力０の検出極性を設定します。

□　Ｌｏｗ(立下り検出)
入力０の LED が点灯した時に ON と判定します。
□　Ｈｉｇｈ(立ち上がり検出)
入力０の LED が消灯した時に ON と判定します。

11-2-4　(b)入力１通報時間設定

入力１の判定時間，出力時間の設定を行います。
判定時間，出力時間ともに、設定範囲は 0.0 秒～65.5 秒です。

判定時間を 0.0 秒に設定すると、即入力を検出します。
出力時間を 0.0 秒に設定した場合でも、通報用のﾒｰﾙが登録されている場合は、直ちに登録されているﾒｰﾙを送信します。



（５）入力１極性設定
入力１の検出極性を設定します。

□　Ｌｏｗ(立下り検出)
入力１の LED が点灯した時に ON と判定します。
□　Ｈｉｇｈ(立ち上がり検出)
入力１の LED が消灯した時に ON と判定します。

11-2-5　Mail 受信設定

（1）POP3ｻｰﾊﾞ

ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞから取得した、POP3ｻｰﾊﾞ(ﾒｰﾙ受信用ｻｰﾊﾞ)の名称、または、IPｱﾄﾞﾚｽのどちらかを入力します。

POP3ｻｰﾊﾞの名称が、ﾄﾞﾒｲﾝ名により指定される場合は、DNSｻｰﾊﾞの設定が必要になります。

半角文字で最大 40 文字まで入力できます。

□ ﾄﾞﾒｲﾝ名指定

（例）pop.example.com

→ 11-2-1（4),(5)DNS 設定を行って下さい。

□ IPｱﾄﾞﾚｽ指定　　．　．　．

（例）192.168.0.251

（2）POP3ﾎﾟｰﾄ

ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞから取得した、POP3ｻｰﾊﾞのﾎﾟｰﾄ番号を入力します。

通常は、110(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値)です。

(例)110

（3）POP3ｱｶｳﾝﾄ名

ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞから取得した、ﾒｰﾙ受信用ｱｶｳﾝﾄを入力します。

半角文字で最大 39 文字まで入力できます。

(例)MAILusername

（4）POP3ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

ﾒｰﾙ受信用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力します。

半角文字で最大 19 文字まで入力できます。

(例)MAILuserpassword

11-2-6　ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙ設定

（１）ＰＯＰ３問合せ間隔

れんら君がｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙの受信を行う間隔を分単位で設定します。
設定範囲は､0～65500(分)です。
0 に設定するとﾒｰﾙｺﾏﾝﾄﾞ受信を行いません。

□ ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙ機能を使用する

ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙ受信問合せ間隔を分単位で設定します。

(例)30(分)

□ 使用しない

０に設定して下さい。

0

（２）返信用 Fromｱﾄﾞﾚｽ

ｺﾏﾝﾄﾞﾒｰﾙの実行結果を知らせる応答ﾒｰﾙに入力する Fromｱﾄﾞﾚｽを入力します。
通常は､受信に使用したﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを入力します。
半角文字で最大 39 文字まで入力できます。

（例）username@example.com

12　れんら君に接続できないときには

まず次のことを確認してください。

(1) 本製品のPWR_LEDが点灯していること。

(2) 本製品の電源電圧が20.4～27.6Vの範囲にあること。

(3) 配線、接続が確実であること。

(4) IPｱﾄﾞﾚｽ設定が正確であること、重複していないこと。

以下の症状別ﾁｪｯｸﾘｽﾄを点検後、不具合を修正し本製品を再起動してください。

12-1 症状別ﾁｪｯｸﾘｽﾄ

症状	ﾁｪｯｸ項目
10BASE LED,100BASE LEDが消灯したまま変化しない。 PWR LEDが消灯したまま変化しない。	• LANｹｰﾌﾞﾙが正しく接続されているか。 • 電源が投入されているか。
10BASE LED,100BASE LEDが点灯または点滅しているが、PWR LEDが赤点灯している。	• 本製品のIPｱﾄﾞﾚｽと同じｱﾄﾞﾚｽを持っている機器が同じﾈｯﾄﾜｰｸ内に接続されていないか。 • LANｹｰﾌﾞﾙが正しく配線されているか。 • 電源ｹｰﾌﾞﾙ、電源が正しく配線,設定されているか。 周囲にﾉｲｽﾞを発生させる機器がある場合は、HUBや通信ｹｰﾌﾞﾙにﾉｲｽﾞ対策を行ってください。
ｾﾝｻｰ信号を入力しているが ﾒｰﾙが送信されない。	• STAT LEDが緑点灯していないか。 • 入力LEDが点灯するか。 • LANｹｰﾌﾞﾙが正しく配線されているか。 • 電源ｹｰﾌﾞﾙ、電源が正しく配線,設定されているか。 • ﾒｰﾙ設定やﾈｯﾄﾜｰｸ設定が正しいか。
LED表示は正しいが、ﾊﾟｿｺﾝかられんら君が確認できない。	• ﾌｧｲﾔｳｫｰﾙｿﾌﾄがれんら君との接続を禁じていないか。 • pingｺﾏﾝﾄﾞでれんら君のIPｱﾄﾞﾚｽを確認できないか。 pingｺﾏﾝﾄﾞでれんら君のIPｱﾄﾞﾚｽを確認できないときは、ﾌｧｲﾔｳｫｰﾙｿﾌﾄや、ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸの設定、IPｱﾄﾞﾚｽのﾈｯﾄﾜｰｸ部の不一致などが考えられます。

12-2 ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾃｨﾝｸﾞ

症状	ﾁｪｯｸ項目
選択中のれんら君がわからない	• 画面下のｽﾃｰﾀｽﾊﾞｰに選択中のれんら君のﾕﾆｯﾄ名，IPｱﾄﾞﾚｽ、MACｱﾄﾞﾚｽの情報が表示されます
通知ﾒｰﾙの本文が確認できない	• 通知ﾒｰﾙの内容は、【ﾒｰﾙ一覧】,【注意ﾒｰﾙ】、【警報ﾒｰﾙ】でﾒｰﾙﾘｽﾄをｸﾘｯｸすることで確認できます。ただし、れんら君設定ｿﾌﾄは、ﾊｲﾊﾟｰﾃｷｽﾄと HTML 形式のﾒｰﾙ本文の表示は対応しておりません。同様に、画像も表示できません。ﾒｰﾙ本文は TEXT 形式のみ表示します。
表示中の設定がれんら君の内容なのか、PCで編集した内容なのかがわからない	• 【れんら君一覧】の【設定】が”れんら君”であればれんら君の設定内容を表示しています。”PC ” であれば設定ｿﾌﾄで内容が編集されているので、れんら君の設定内容と異なっています。
【れんら君一覧】のﾘｽﾄにIPｱﾄﾞﾚｽ、MACｱﾄﾞﾚｽの表示が“?”が表示されている	• 【れんら君ﾏｯﾌﾟ】で探索した結果、同じ IPｱﾄﾞﾚｽを使用しているれんら君が存在します。競合しないように IPｱﾄﾞﾚｽを割り当ててください。
以前に設定を行ったれんら君を【れんら君ﾏｯﾌﾟ】で発見したが、設定が出荷状態になっている	• 【れんら君ﾏｯﾌﾟ】では、れんら君の設定情報は取得できません。【設定読込】を実行してください
【設定読込】,【設定書込】で"れんら君が選択されていません"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• 【れんら君一覧】のﾘｽﾄをｸﾘｯｸして対象を選択してから、もう一度、実行してください。
【設定読込】,【設定書込】で"れんら君に接続できませんでした"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• **症状別ﾁｪｯｸﾘｽﾄ** を参照してください
【設定書込】で"れんら君ﾈｯﾄﾜｰｸ設定の○○の設定が異常です"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• 【れんら君ﾈｯﾄﾜｰｸ設定】の IPｱﾄﾞﾚｽ、ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ,ﾎｽﾄ名,ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ,ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞｰの設定内容を確認してください。
【設定読込】,【設定書込】で"ﾕｰｻﾞｰ名、または、ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが違います"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• れんら君の管理者権限のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ認証に失敗しています。設定の【rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ】の設定項目がれんら君に書き込まれている内容と Rootﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力ﾀﾞｲｱﾛｸﾞに入力された内容と食い違っています。 (詳細は、前述の9章を参照ください)
【設定読込】で”入力要因、及び、通知ﾒｰﾙ出力の設定が見つかりません”のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• れんら君が工場出荷状態で設定の一部が参照できない。【設定書込】を実行してください
【設定書込】で”入力要因、及び、通知ﾒｰﾙ出力の設定に失敗しました”のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• **症状別ﾁｪｯｸｪﾘｽﾄ** を参照してください

症状	ﾁｪｯｸ項目
【設定読込】,【設定書込】で"れんら君から応答が返ってこないか、通信が切断されています"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• **症状別ﾁｪｯｸﾘｽﾄ**　を参照してください
【設定読込】,【設定書込】で"ご使用のﾊﾟｿｺﾝがれんら君と通信できるIPｱﾄﾞﾚｽに設定されていません"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• ご使用のﾊﾟｿｺﾝをれんら君に通信が行えるﾈｯﾄﾜｰｸ設定に変更してください。 （詳細については**7-２項**を参照してください）
【設定読込】,【設定書込】で"入力要因、及び、通知ﾒｰﾙ出力の設定ﾃﾞｰﾀの形式が異なります"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• 設定ｿﾌﾄがれんら君に対応していません。れんら君に対応した設定ｿﾌﾄでれんら君の設定を行ってください。対応機種は、設定ｿﾌﾄのﾍﾙﾌﾟ(H)→ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報(A)...で確認できます
ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰの編集を終了した際に"編集後のﾒｰﾙがれんら君に登録できません"のﾒｯｾｰｼﾞと共にれんら君のIPｱﾄﾞﾚｽ、MACｱﾄﾞﾚｽのﾘｽﾄが表示されて、通知ﾒｰﾙの登録が全て解除されてしまう。	• ﾘｽﾄに表示されたれんら君の通知ﾒｰﾙの登録を再度行ってください。これは、編集後のﾒｰﾙがれんら君に登録できるｻｲｽﾞよりも大きくなった為におきます。設定ｿﾌﾄのﾒｰﾙ登録容量のｲﾝｼﾞｹｰﾀｰで登録可能な残容量、ﾒｰﾙｴﾃﾞｨﾀｰのｲﾝｼﾞｹｰﾀｰで編集中のﾒｰﾙｻｲｽﾞを確認しながら、ﾒｰﾙの編集をおこなってください。
【設定書込】で"ﾒｰﾙﾃﾞｰﾀの転送に失敗しました"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する	• **症状別ﾁｪｯｸﾘｽﾄ**　を参照してください
【設定読込】,【設定書込】で"通信処理でﾃﾞｰﾀに誤りを発見しました"のﾒｯｾｰｼﾞが表示される	• **症状別ﾁｪｯｸﾘｽﾄ**　を参照してください
【設定読込】,【設定書込】で"れんら君が設定ﾓｰﾄﾞで起動していません"のﾒｯｾｰｼﾞが表示されて失敗する。	• れんら君を手動で再起動して、再度、実行してください。 （詳細は、前述の**7-２項**を参照してください）
【設定ｺﾋﾟｰ】で"れんら君の設定内容のｺﾋﾟｰ元が選択されていません"のﾒｯｾｰｼﾞが表示される	• 【れんら君一覧】のﾘｽﾄをｸﾘｯｸして設定内容のｺﾋﾟｰ元を選択してから、【設定ｺﾋﾟｰ】を実行してください。その後、ｺﾋﾟｰ先を選択して、【設定貼り付け】を実行してください。
【設定貼り付け】で"れんら君の設定内容の貼り付け先が選択されていません"のﾒｯｾｰｼﾞが表示される	• 【れんら君一覧】のﾘｽﾄをｸﾘｯｸして設定内容のｺﾋﾟｰ先を選択してから、【設定貼り付け】を実行してください。
れんら君設定ｿﾌﾄをｾｯﾄｱｯﾌﾟできない	• WindowsXP SP2 においてﾕｰｻﾞｰｱｶｳﾝﾄに全角文字を使っている場合 れんら君設定ｿﾌﾄのｾｯﾄｱｯﾌﾟに失敗します。 半角文字のﾕｰｻﾞｰｱｶｳﾝﾄで WindowsXP SP2 にﾛｸﾞｲﾝ後れんら君設定ｿﾌﾄをｾｯﾄｱｯﾌﾟしてください。

ＮＫＥ株式会社

本社工場	〒617-0828	京都府長岡京市馬場図所27	TEL 075-955-0071 (代)	FAX 075-955-1063
東京営業所	〒110-0016	東京都台東区台東2丁目12-2(不二DICビル)	TEL 03-3833-5330 (代)	FAX 03-3833-5350
名古屋営業所	〒460-0026	名古屋市中区伊勢山2丁目13-22(ITOHビル)	TEL 052-322-3481 (代)	FAX 052-322-3483
大阪営業所	〒550-0013	大阪市西区新町1丁目2-13(新町ビル)	TEL 06-6538-7136 (代)	FAX 06-6538-7138
京都営業所	〒612-8487	京都市伏見区羽束師菱川町336-1	TEL 075-924-3293 (代)	FAX 075-924-3290
伏見工場	〒612-8487	京都市伏見区羽束師菱川町336-1	TEL 075-931-2731 (代)	FAX 075-934-8746